

SHARP[®]

SH-T01L

取扱説明書

はじめに

お買い上げいただき、誠にありがとうございました。
本書をよくお読みの上、正しくお使いください。

取扱説明書について

■ クイックスタートガイド(本体付属品)

各部の名称と機能やご利用にあたっての注意事項などについて説明しています。

■ 取扱説明書(本書)

機能の詳細な案内や操作について説明しています。

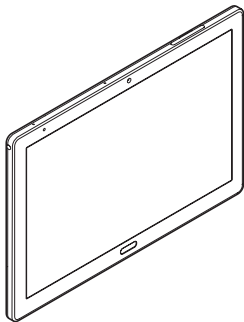
次のサイトでダウンロード

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/sht01/manual/index.html>

※最新情報がダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- 本書においては、「SH-T01L」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
- 本書は、ホームアプリが「AQUOS Home」の場合で説明しています。
- 本書ではmicroSDカード、microSDHCカード、microSDXCカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。

本体付属品



SH-T01L本体



クイックスタートガイド
(保証書付き)

- 本端末に対応する別売品については次のサイトをご覧ください。

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/sht01/index.html>

目次

取扱説明書について.....	H2
本体付属品.....	1

注意事項

本端末のご利用について.....	4
安全上のご注意(必ずお守りください).....	5
取り扱い上のご注意.....	15
内蔵電池の交換について.....	20
リサイクルについて.....	21
防水/防塵性能.....	21

ご使用前の準備

各部の名称と機能.....	28
nanoSIMカード.....	31
microSDカード.....	33
充電.....	34
電源を入れる/切る.....	36
初期設定.....	37
本端末で利用する暗証番号について.....	38

基本操作

基本操作.....	40
文字入力.....	44
通知/充電ランプ.....	45

画面表示/アイコン.....	46
アプリ使用履歴.....	49
マルチウィンドウ.....	50
音声エージェント.....	51
アプリの権限を設定する.....	51

ホーム画面

ホーム切替.....	53
AQUOS Home.....	53
かんたんホーム.....	56
主なアプリ一覧.....	58

連絡帳

連絡帳.....	61
----------	----

メール/ウェブブラウザ

SMS.....	64
Gmail™.....	66
Chrome.....	67

カメラ/フォト

カメラについて.....	70
フォト.....	75

本体設定

設定メニュー	76
タブレット情報	77
お困りのときは	77

ファイル管理

ストレージ構成	79
ファイル操作	79

データ通信

Bluetooth®機能	81
--------------	----

外部機器接続

パソコンなどとの接続	86
プリントサービスによる印刷/保存	88
USBホスト機能	88
キャスト	89
VPN(仮想プライベートネットワーク)	89

付録

トラブルシューティング(FAQ)	90
システム アップデート	95
保証とアフターサービス	97
主な仕様	98

データ通信端末の比吸収率(SAR)について	100
CAUTION	101
輸出管理規制	102
知的財産権について	102

索引

名前から探す	105
目的から探す	109

注意事項




本端末のご利用について

- 本端末は、日本国内でのみ使用可能です。LTE・W-CDMA・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は、音声通話には対応していません。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、携帯電話サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態は[■]を表示している状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末はユーザーやゲストが利用できる機能に対応していますが、ユーザーを切り替えた際にサービスやアプリによっては同一のお客様として取り扱われる場合があります。本機能の利用により発生したお客様、または第三者の損害やトラブルに関して、当社としては一切の責任を負いかねます。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管して下さるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 本端末のシステムを最新の状態にアップデートすることができます(※P.95「システム アップデート」)。
- ご利用の端末のソフトウェアバージョンについては※P.77「タブレット情報」
- 紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。
- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google Play™などのGoogle™サービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。

- Google LLCが提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Googleおよび各提供元が定める利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販の周辺機器については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)







- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	<p>この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷^(※1)を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。</p>
 警告	<p>この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷^(※1)を負う可能性が想定される」内容です。</p>
 注意	<p>この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷^(※2)を負う可能性が想定される場合および物的損害^(※3)の発生が想定される」内容です。</p>

- ※1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

- ※2 軽傷:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
- ※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止 禁止(してはいけないこと)を示す記号です。	 濡れ手禁止 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 分解禁止 分解してはいけないことを示す記号です。	 指示 指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
 水濡れ禁止 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。	 電源プラグを抜く 電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

本端末、ACアダプター、nanoSIMカードの取り扱いについて(共通)

⚠危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水/防塵性能については以下をご参照ください。
☞P.21「防水/防塵性能」



禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。また、風呂場や加湿器のそばなどの水に触れる場所では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
☞P.21「防水/防塵性能」



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特にバッグなどに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつかけたり、物に挟んだりしないでください。内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ ご注意ください例

- バッグなどに入れて状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- 電車やバスなどの座席シートに挟み込む



禁止

本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

本端末の背面カバーを取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

☞ P.21「防水／防塵性能」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

☞ P.21「防水／防塵性能」



指示

本端末には、必ず指定のACアダプター(別売)をご使用ください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

別売品については次のサイトをご覧ください。

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/sht01/index.html>

警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



水濡れ禁止

お手入れの際は、消毒液や水分がすき間、マイク、スピーカー、USB Type-C®接続端子、イヤホンマイク端子、空気抜き穴に入らないようにしてください。本端末の破損により、けが、感電などの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。

ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントから抜く。
- 本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

破損したまま使用しないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレーション設定中には特にご注意ください。

落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。防水/防塵性能については以下をご参照ください。

☞ P.21「防水/防塵性能」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児やペットが届く場所に置かないでください。nanoSIMカード/microSDカードトレイなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。

アプリ、データ通信や動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本端末やACアダプターの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となりますので就寝時などはご注意ください。

本端末の取り扱いについて

危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のnanoSIMカード／microSDカードトレイの挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片(カッターの刃やホチキスの針など)、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

また、nanoSIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

アラームを鳴らす場合は、耳元で鳴らさないでください。

難聴など耳への障害の原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

大きな音で通知音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
待ち受け中であっても、突然の通知音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、バイブレータ(振動)や通知音量の設定に注意してください。

突然のバイブレータ(振動)や通知音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部などのガラスを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようにご注意ください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

モーションセンサーや地磁気センサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のごみと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。
【P.14「材質一覧」】



指示

本端末のスピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分に明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

ACアダプターの取り扱いについて

警告



禁止

ACアダプターのケーブルが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプターには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプターのケーブルの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプターを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプターに変圧器(海外旅行用のトラベルコンバーターなど)を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にACアダプターを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でACアダプターのケーブルや充電端子、電源プラグに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

指定のACアダプター(別売): AC100V~240V(家庭用ACコンセント専用)



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

ACアダプターをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、ACアダプターのケーブルを引っ張るなど無理な力を加えず、ACアダプターを持って抜いてください。

ACアダプターのケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にACアダプターを抜き差しする場合は、ケーブルを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、ACアダプターを持って電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちにACアダプターを持って、電源プラグをコンセントから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、ACアダプターを持って電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

コンセントにつないだ状態でACアダプターに継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

nanoSIMカードの取り扱いについて

⚠️ 注意



指示

nanoSIMカードを取り扱う際は指などの身体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

梱包用ビニール袋の取り扱いについて

⚠️ 警告



禁止

乳幼児やペットが届く場所に置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息などの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

警告



指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

端末

使用箇所	材質/表面処理
ディスプレイ面	強化ガラス/AFコート
外装	PC樹脂+ABS樹脂/ハードコート、塗装、印刷
電源キー	アルミニウム/アルマイト処理
音量UP/DOWNキー	アルミニウム/アルマイト処理
指紋センサー	エポキシ樹脂/ハードコート
カメラパネル	PC樹脂+アクリル樹脂/AFコート
nanoSIMカード/microSDカードトレイ(外装部)	PC樹脂(ガラス入り)/ハードコート、塗装
nanoSIMカード/microSDカードトレイ(樹脂部)	POM樹脂/印刷
nanoSIMカード/microSDカードトレイ(金属部)	ステンレス/なし
nanoSIMカード/microSDカードトレイのパッキン	シリコンゴム/なし
製造番号プレート	PET樹脂/PET樹脂ラミネート、印刷
製造番号ラベル	PET樹脂/印刷

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- SH-T01Lは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、指定のACアダプター（別売）にこれらを附着させたりしないでください。

指定のACアダプター、nanoSIMカードは防水／防塵性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - ・ 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ・ ディスプレイに水滴や汚れなどが附着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - ・ アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子や指紋センサーなどは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。

端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。

また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

- 本端末に無理な力がかからないように使用してください。

多くのものが詰まった荷物の中に入れるとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。

また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

故障、破損の原因となります。
- お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。

本端末についてのごお願い

- ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。

傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。

温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

風呂場でのご使用については以下をご参照ください。
【※P.21「SH-T01Lが有する防水／防塵性能ができること」】
- 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）をお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。

万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。

故障、破損の原因となります。

- 使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

- カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。

素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

- 通常はnanoSIMカード／microSDカードトレイを閉じた状態でご使用ください。

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。

- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。

指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。

- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。

データの消失、故障の原因となります。

- 磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、交通系ICカードなどのデータが消えてしまうことがあります。

また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。

- 本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。

明るさセンサー、指紋センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。

明るさセンサー、指紋センサーの位置は、以下をご参照ください。

☞P.28「各部の名称と機能」

- 内蔵電池は消耗品です。

内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくとつれて内蔵電池が膨れる場合があります。

十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換については以下をご参照ください。

☞P.20「内蔵電池の交換について」

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。
 - ・ フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - ・ 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

- 本端末の表面にアルミ材を使用しております。アルミは柔らかい素材のため、打痕・擦り傷が残りやすくなっておりますので、ご注意ください。

ACアダプターについてのお願い

- 充電には指定のACアダプター(別売)をご使用ください。
別売品については次のサイトをご覧ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/sht01/index.html>
- 充電は、適正な周囲温度(5℃~35℃)の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・ 家庭用電子機器(テレビ・ラジオなどの)近く
- 充電中にACアダプターが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

nanoSIMカードについてのお願い


- nanoSIMカードの取り付け/取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどにnanoSIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。

- お客様ご自身で、nanoSIMカードに登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- nanoSIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- nanoSIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- nanoSIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。


Bluetooth機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 周波数帯について

本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は、ホーム画面▶[]▶[タブレット情報]▶[規制ラベル]で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4: 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH: 変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- ③ 4: 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ④ XX: 変調方式がその他の方式であることを示します。
- ⑤ 8: 想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。
- ⑥ : 2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

● Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN(WLAN)についてのお願い


- 無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
- 無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 無線LANについて


電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

● 周波数帯について

本端末の無線LAN機能が利用する周波数帯は、ホーム画面▶▶[タブレット情報]▶[規制ラベル]で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4:2400MHz帯を利用する無線設備を示します。
 - ② DS:変調方式がDS-SS方式であることを示します。
 - ③ OF:変調方式がOFDM方式であることを示します。
 - ④ 4:想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
 - ⑤ :2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
- 本端末の無線LANで設定できるチャンネルは1~13です。これ以外のチャンネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。

利用可能なチャンネルは国により異なります。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

● 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

● 5GHz機器使用上の注意事項

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz帯(W52/W53/W56)の3種類の帯域を利用することができます。

- W52(5.2GHz帯/36、40、44、48ch)
- W53(5.3GHz帯/52、56、60、64ch)
- W56(5.6GHz帯/100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)

5.2GHz/5.3GHz帯無線LAN(W52/W53)の屋外利用は法律で禁止されています(5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント/中継局と通信する場合を除く)。

電波障害自主規制について

- 本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の電子銘板に表示しています。

電子銘板は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。

ホーム画面▶▶[タブレット情報]▶[規制ラベル]

注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「**技適マーク**」が本端末の電子銘板に表示されています。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。

ホーム画面▶**[]**▶**[タブレット情報]**▶**[規制ラベル]**

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って使用することは、罰則の対象となります。
- **Bluetooth・無線LAN(WLAN)機能は日本国内で利用してください。**
本機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

内蔵電池の交換について

内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。使用状況や動作環境によって異なりますが、充放電を繰り返すうちに劣化します。十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは新しい内蔵電池と交換する必要があります。

本端末の内蔵電池はお客様自身では交換できませんので、「保証書に記載のお問い合わせ先」へご連絡いただき、内蔵電池の交換を依頼してください(有償)。

リサイクルについて

本端末に使用していますリチウムイオン電池はリサイクル可能な有益な資源です。リサイクルにご協力をお願いします。リサイクルについては「保証書に記載のお問い合わせ先」まで、ご相談ください。



Li-ion00

■ 本製品を廃棄するときは

- 各自治体の廃棄ルールに従っていただきますようお願いいたします。自治体によって規則が異なりますので、お客様がお住まいの各自治体にご確認ください。
- プライバシー保護のため、事前に「全データを消去(出荷時リセット)」を行って、システムメモリ内のすべてのデータを消去してください(☞P.76「システム」)。

防水／防塵性能

SH-T01Lは、nanoSIMカード／microSDカードトレイをしっかりと閉じた状態でIPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP6X※3の防塵性能を有しています。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところ通信端末を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に通信端末を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

SH-T01Lが有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通信ができます(1時間の雨量が20mm程度)。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱めの水流(6L/分以下、常温(5℃～35℃)の水道水)で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。nanoSIMカード／microSDカードトレイが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください(☞P.25「水に濡れたときの水抜きについて」)。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

●風呂場で使用できません。

- 常温の水道水以外の液体(温泉の湯やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水など)を付着させたり、湯船に浸けたりしないでください。

故障の原因となります。万が一、水道水以外の液体が付着したり、湯船に落としてしまった場合は、直ちに所定の方法で洗い流してください。

- 風呂場では、室温は5℃～40℃、湿度は99%以下、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。

なお、すべての機能の連続動作を保証するものではありません。

- 水に濡れたあとは、必ず所定の方法(※P.25「水に濡れたときの水抜きについて」)で水抜き・自然乾燥を行ってください。

風呂場での使用後やカメラのレンズ内側などに結露が発生した場合も自然乾燥を行ってください。

- 急激な温度変化は、結露の原因となります。

寒い場所から暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。

また、風呂場で暖まった本端末に冷たい水をかけないでください。故障の原因となります。

- 風呂場では絶対に充電を行わないでください。

- 風呂場の構造・環境によっては電波が届かず、データ通信ができない場合があります。

- 濡れた手で操作をする場合、反応しなかったり、誤動作したりする可能性があります。

- 風呂場で、イヤホンや外部接続機器を接続して使用しないでください。

ご利用にあたって

防水／防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- nanoSIMカード／microSDカードトレイをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに無理な力を加えないように注意してください。
- nanoSIMカード／microSDカードトレイが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
- 防水／防塵性能を維持するため、nanoSIMカード／microSDカードトレイはしっかりと閉じる構造となっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。

- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。部品の交換については「保証書に記載のお問い合わせ先」までご連絡ください。

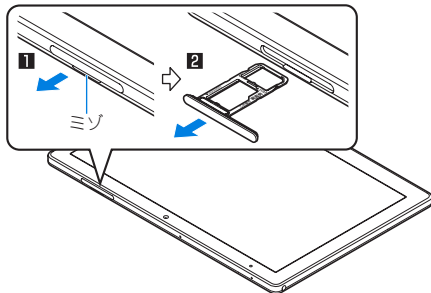
■ nanoSIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付けかた

- 取り外し／取り付けは、必ず電源を切ってから行ってください。端末は手でしっかり持ってください。
- 取り外し／取り付けは、ディスプレイ面を上向きにして行ってください。

取り外すとき

1 nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体から引き出す

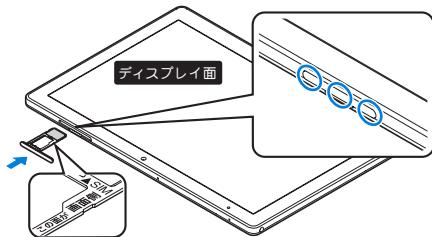
- ミゾに指の先をかけて手前に引き出し(1)、ゆっくりと水平に引き出してください(2)。カードトレイを強く引き出したり、斜めに引き出したりすると、破損の原因となります。
- 引き出すときに、カードがカードトレイから外れて、紛失したりしないように注意してください。



取り付けるとき

1 ディ스플레이面を上向きにして、nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

- O部分をしっかりと押し、本体とカードトレイにすき間がないことを確認してください。
- カードトレイは「この面が画面側」の刻印を上向きにして、ゆっくりと差し込んでください。
- カードトレイを裏表逆に差し込まないでください。裏表逆に差し込むと、カードトレイが破損する恐れがあります。
- カードトレイの差し込みが不十分な場合は、防水／防塵性能が損なわれたり、正常に動作しないことがあります。



注意事項

- 手が濡れているときや端末に水滴や異物がついているときには、nanoSIMカード／microSDカードトレイの開閉はしないでください。
- nanoSIMカード／microSDカードトレイはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など)が挟まると、液体や粉塵が入る原因となります。
- nanoSIMカード／microSDカードトレイが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、「保証書に記載のお問い合わせ先」までご連絡ください。
- nanoSIMカード／microSDカードトレイと本体の接触面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。ゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までご連絡ください。
- nanoSIMカード／microSDカードトレイのすき間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、液体や粉塵が入る原因となります。
- 水中で端末を使用(キー操作を含む)しないでください。故障の原因となります。
- 規定以上の強い水流(6L/分を超える)を直接当てないでください。SH-T01LはIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 常温(5℃～35℃)の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。常温の水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の水で洗ってください。
- 洗濯機などで洗わないでください。

- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは端末が常温になってから持ち込んでください。
- 温泉の湯やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風(ドライヤーなど)を当てたりしないでください。
- 海水には浸けないでください。
- 砂／泥の上に直接置かないでください。
- 万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 本端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- マイク、スピーカー、USB Type-C接続端子、イヤホンマイク端子、空気抜き穴などを先の尖ったものでつつかないでください。
- 端末が水に濡れた状態で外部接続機器を挿さないでください。故障の原因となります。
- 指定のACアダプター(別売)は防水／防塵性能を有しておりません。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。



せっけん/
洗剤/入浴剤



海水



プール



温泉



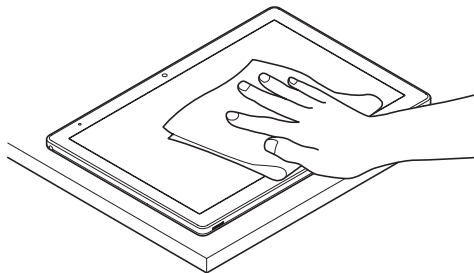
砂/泥

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

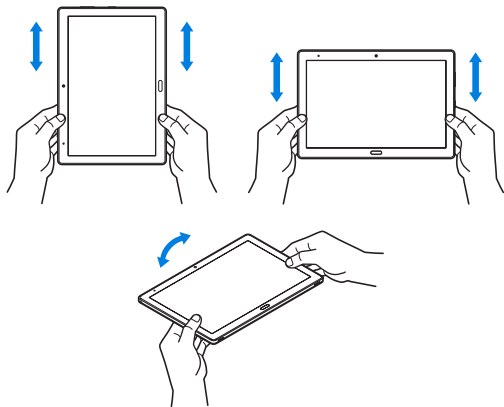
水に濡れたときの水抜きについて

端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

- 1 端末を安定した台などに置き、端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

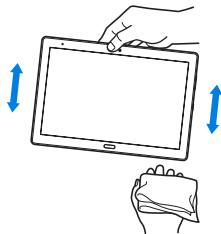


- 2 端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振り、端末の上下または表裏を持ち替えて、再度20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る



- 3 マイク、スピーカー、キー、USB Type-C接続端子、イヤホンマイク端子、空気抜き穴などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに端末を軽く押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布などを当て、軽くたたいて水を出してください。



- 4 端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、約3時間自然乾燥させる

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 水が抜けない場合は音が聞こえづらいたることがありますので、再度布などを当て、軽くたたいて水を出してください。

充電のとき

指定のACアダプター(別売)は防水/防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 端末に水滴や異物が付着していないか確認してください。異物が付着している場合は、すぐに洗い流してください。また、濡れている場合や水に濡れたあとは、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取り、自然乾燥させてから充電してください。

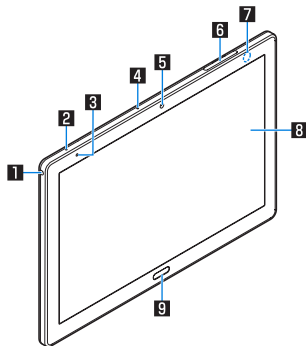
警告

端末に水滴や異物が付着している状態では、USB Type-Cプラグを絶対に接続しないでください。

- 端末は防水/防塵性能を有しておりますが、濡れたり汚れたりしている状態でUSB Type-Cプラグを挿入すると、端末やUSB Type-Cプラグに付着した水分や異物などにより、充電ショートによる異常発熱、故障、火災、やけどの原因となります。
- 濡れた手でACアダプターに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプターは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の準備

各部の名称と機能



1 イヤホンマイク端子

2 空気抜き穴

- 端末内の余分な空気を抜くための穴です。

3 明るさセンサー※1

- 画面の明るさの自動制御に使用します。

4 マイク

- 動画撮影時の録音に使用します。

5 インカメラ

- カメラの利用についてはP.70「カメラについて」

6 nanoSIMカード/microSDカードトレイ

- nanoSIMカードについてはP.31「nanoSIMカード」
- microSDカードについてはP.33「microSDカード」

7 通知/充電ランプ

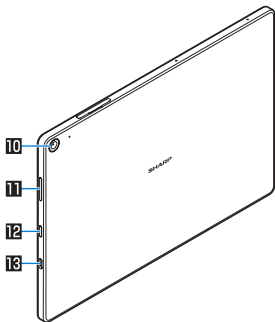
- 通知/充電ランプについてはP.45「通知/充電ランプ」

8 ディスプレイ/タッチパネル

- タッチパネルの操作についてはP.40「タッチパネルの操作」

9 指紋センサー※1

- 指紋認証による、タッチパネルのロック解除などに利用します。
- ホームキーとして利用します。



10 アウトカメラ

- カメラの利用についてはP.70「カメラについて」

11 \square (+) / \square (-) : 音量UP/DOWNキー

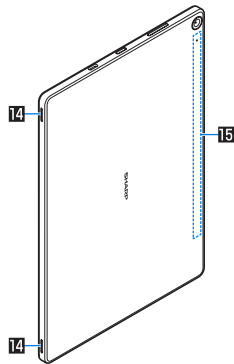
- 各種音量の調節やカメラ撮影、マナーモードの設定などに使用します。

12 \square : 電源キー

- 電源を入れる/切るときや、画面を点灯/消灯するときに使用します。
- 1秒以上押しとメニューが表示され、[電源を切る][再起動][故障かな?と思ったら]の操作ができます。
- 詳しくは下記をご参照ください。
 - 電源を入れる/切るについてはP.36「電源を入れる/切る」
 - 「故障かな?と思ったら」についてはP.78「セルフチェック」

13 USB Type-C接続端子

- 充電時などに使用します。
- 外部機器との接続についてはP.34「充電」、P.86「パソコンなどとの接続」、P.88「USBホスト機能」



14 スピーカー

- 通知音や音楽などがここから聞こえます。

15 内蔵/Wi-Fi/Bluetooth/GPSアンテナ※2

- ※1 センサー部分にはシールなどを貼らないでください。
- ※2 本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響をおよぼす場合があります。

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。

- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

イヤホンマイクについて

- イヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。

明るさセンサーについて

- 明るさセンサーを覆うと、画面が暗くなります。端末を縦に持った際など、明るさセンサーを手で覆わないようにご注意ください。

マイクについて

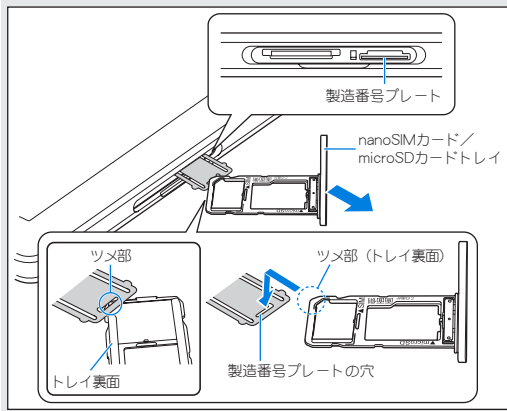
- マイクを利用する機能を使用する場合は、マイクの穴をふさがないようにしてください。

製造番号プレートについて

- nanoSIMカード／microSDカードトレイの挿入口付近には、製造番号などを印刷したシールが貼られたプレートが収納されています。「保証書に記載のお問い合わせ先」にお問い合わせいただく際に、製造番号が必要となりますので、プレートを引き出したり、シールをはがしたりしないでください。製造番号プレート（銘板プレート）の取り扱いに関する注意事項については、「アフターサービスについて」(P.97)をご参照ください。

製造番号プレートを引き出すには

- ① ディスプレイ面を上向きにして、nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体から引き出す。nanoSIMカード／microSDカードトレイの引き出し方については以下をご参照ください。
[P.23] nanoSIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付け方
- ② nanoSIMカード／microSDカードトレイ裏面（文字が印刷されていない面）のツメ部を製造番号プレートの穴に上からかけて、製造番号プレートを引き出してください。（このとき、nanoSIMカードやmicroSDカードは事前にトレイから取り外しておいてください。）
※ 製造番号プレートは引き抜かないでください。



- 製造番号プレートが無理に引き出したり、力を加えたりすると、破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 製造番号プレートを引き出してしまった場合は、製造番号プレートが奥に入り込みすぎないように、ゆっくりと差し込んでください。

本端末の強制終了について

- (電源キー)を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

nanoSIMカード

nanoSIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。

- nanoSIMカードを取り付けないと、パケット通信などの機能を利用できません。
- nanoSIMカードには、PINコードという暗証番号があります(☞P.38「PINコード」)。

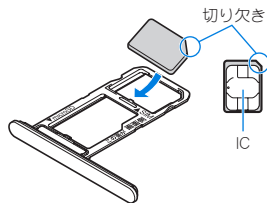
■ 取り付けかた

- nanoSIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付け方法について詳しくは、「nanoSIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付けかた」(☞P.23)をご参照ください。

1 nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体から取り外す

2 nanoSIMカードのIC面を下向きにして、nanoSIMカード／microSDカードトレイに取り付ける

- 切り欠きの方向にご確認ください。
- nanoSIMカードの向きに注意して、確実に取り付けてください。
- nanoSIMカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



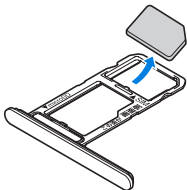
3 ディスプレイ面を上向きにして、nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体に取り付ける

■ 取り外しかた

- nanoSIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付け方法について詳しくは、「nanoSIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付けかた」(P.23)をご参照ください。

1 nanoSIMカード／microSDカードトレイを取り外す

2 nanoSIMカードをnanoSIMカード／microSDカードトレイから取り外す



3 ディスプレイ面を上向きにして、nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体に取り付ける

- nanoSIMカードやmicroSDカードは、直接本体に差し込まないでください。
- カードをカードトレイに取り付けたあとで、カードトレイごと本体に差し込んでください。
- nanoSIMカードやnanoSIMカード／microSDカードトレイを取り外す際は、落とさないようにご注意ください。
- ディスプレイ面を下向きにしたり、本体を立てた状態でnanoSIMカード／microSDカードトレイを引き出すと、取り付けられているnanoSIMカードが外れ、紛失する可能性があります。
- nanoSIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようとして、取り外そうとするとnanoSIMカードが破損したり、nanoSIMカード／microSDカードトレイが変形したりする恐れがありますので、ご注意ください。
- nanoSIMカードの詳しい取り扱いについては、nanoSIMカードの取扱説明書を参照してください。
- 取り外したnanoSIMカードは、なくさないようにご注意ください。

microSDカード

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- SH-T01Lが対応するmicroSDカードの情報については、次のサイトをご覧ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/sht01/peripherals/microsd.html>
- 端末にmicroSDカードを挿入した直後(端末で使用するための情報を書き込み中)や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、端末で初期化する必要があります(※P.76「ストレージ」)。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、端末で表示、再生できないことがあります。また、端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化をする必要があります(データはすべて削除されます)。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先/コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。

- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管して下さるようお願いいたします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

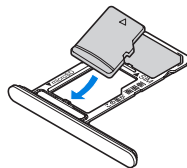
■ 取り付けかた

- nanoSIMカード/microSDカードトレイの取り外し/取り付け方法について詳しくは、「nanoSIMカード/microSDカードトレイの取り外し/取り付けかた」(※P.23)をご参照ください。

1 nanoSIMカード/microSDカードトレイを取り外す

2 microSDカードの金属端子面を下向きにして、nanoSIMカード/microSDカードトレイに取り付ける

- microSDカードの向きに注意して、確実に取り付けてください。
- microSDカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



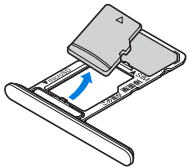
3 ディ스플레이面を上向きにして、nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体に取り付ける

■ 取り外しかた

- nanoSIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付け方法について詳しくは、「nanoSIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付けかた」(P.23)をご参照ください。

1 nanoSIMカード／microSDカードトレイを取り外す

2 microSDカードをnanoSIMカード／microSDカードトレイから取り外す



3 ディ스플레이面を上向きにして、nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体に取り付ける

充電

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

- 本端末に対応する最新の充電機器は、次のサイトをご覧ください。

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/sht01/index.html>

■ 充電時のご注意

- 充電時間や十分に充電したときの利用可能時間の目安についてはP.98「主な仕様」
- 端末の電源を入れておいても充電できます(通電中は電池マークに[⚡]が重なって表示されます)。
- 充電中にロック画面や設定画面に表示される充電完了までの時間は、目安です。
- 充電完了後、指定のACアダプター(別売)を長時間挿したままにすると、充電量が減少する場合があります。この場合、ACアダプターから再び充電を行いますが、ACアダプターを端末から取り外すタイミングによっては、内蔵電池の充電量が本来の充電量より少ない場合があります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少していることがあります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。

- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめします。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。

ACアダプターで充電

[必ず利用するACアダプターの取扱説明書を参照してください]

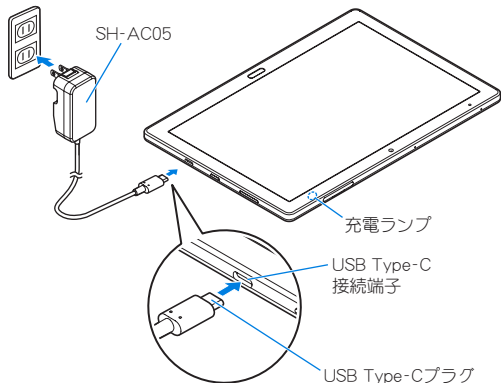
- 次の操作はACアダプター SH-AC05（別売）を使用して説明しています。
 - 別売のACアダプターについてはP.17「ACアダプターについて」のお願い」

1 ACアダプターの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む

- 根元まで確実に差し込んでください。

2 ACアダプターのUSB Type-Cプラグを、端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む

- 充電ランプが点灯し、充電が開始します。
- フル充電状態になっても、充電ランプは消灯しません。



3 充電が完了したら、USB Type-Cプラグを端末のUSB Type-C接続端子から水平に抜く

4 電源プラグをコンセントから抜く

USBケーブルで充電

端末とパソコンをUSB Type-Cケーブル（市販品）などで接続すると、端末を充電することができます。

- パソコンなどとの接続方法についてはP.86「パソコンなどとの接続」

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 〇(電源キー)(3秒以上)

- はじめて端末の電源を入れたときは初期設定を行ってください(☞P.37「初期設定」)。

■ 電源を切る

1 〇(電源キー)(1秒以上)



2 [電源を切る]

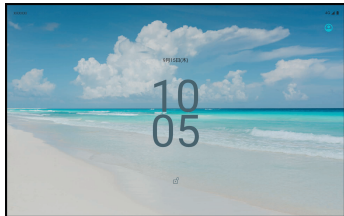
■ ディスプレイの表示／非表示

〇(電源キー)を押したときや端末を一定時間使用しなかったときは、ディスプレイの表示が消えます。
ディスプレイが消えているときに〇(電源キー)を押すと、ディスプレイが表示されます。

■ タッチパネルのロック

電源を入れたときやディスプレイを表示させたときはタッチパネルがロックされています。

[]が表示されている場合は、画面を上へスワイプして画面ロックを解除します。[]が表示されている場合は、画面を上へスワイプして[画面ロック]で設定したパスワードなどを入力して画面ロックを解除します。



タッチパネルのロック画面の操作

- ステータスパネルの表示:画面を下にドラッグ
 - ステータスパネルを展開して表示:ステータスバーを下にドラッグ
- タッチパネルのロック画面には通知が表示されます。


初期設定

はじめて端末の電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。


- 設定項目は次のとおりです。ただし、各設定で選択した内容により、以降に表示される項目は異なります。
 - 言語の設定
 - ネットワークの選択
 - アプリとデータのコピー
 - Googleアカウントの設定 (P.37「Googleなどのアカウントの設定を行う」)
 - Google サービス
 - 端末のロック
 - Google アシスタント™
 - Google Pay™
 - その他の設定項目

Googleなどのアカウントの設定を行う

- Googleアカウントとは、Googleの各種サービスを利用するためのユーザー名/パスワードです。本端末にGoogleアカウントを設定することで、Gmailを利用してEメールを送受信したり、Google Playを利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。


- 1 ホーム画面▶[]▶[パスワードとアカウント]▶[アカウントを追加]
- 2 アカウントの種類を選ぶ

3 アカウントを設定する

- ホーム画面▶[]▶[パスワードとアカウント]で表示されるメニューに、追加したアカウントが表示されます。

- アカウントが必要となるアプリを起動したときにアカウントが未設定の場合は、アカウント設定画面が表示されます。
- 設定したアカウントおよびパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

■ アカウントの削除

- 1 ホーム画面▶[]▶[パスワードとアカウント]
- 2 アカウントを選ぶ▶[アカウントを削除]▶[アカウントを削除]
 - アカウントにより操作方法が異なります。

■ Googleアカウントのパスワードの再取得

Googleアカウントのパスワードをお忘れになった場合は、パスワードを再取得してください。

- 1 ホーム画面▶[]
- 2 URL入力欄に「https://www.google.co.jp」を入力▶[]▶[ログイン]
- 3 メールアドレスを入力▶[次へ]▶[パスワードをお忘れの場合]▶画面の指示に従って操作
 - 利用状況により操作方法が異なります。

本端末で利用する暗証番号について

本端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。

- 各種機能用の暗証番号、PINコード入力時は、[・]で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 画面ロック用PIN/パスワード

本端末の[画面ロック]を使用するための暗証番号です。

■ PINコード

PINコードは、第三者によるnanoSIMカードの無断使用を防ぐため、nanoSIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたnanoSIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■ PINロック解除コード(PUKコード)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとnanoSIMカードが完全にロックされます。その場合は、nanoSIMカードの販売元までお問い合わせください。

PINコードを設定する

電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。

- 1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [セキュリティ] ▶ [SIM カードロック設定]
- 2 [SIM カードをロック]
- 3 PINコードを入力 ▶ [OK]

- 設定はnanoSIMカードに保存されます。

PINコードを変更する

[SIM カードをロック]を設定しているときのみ変更できません。

- 1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [セキュリティ] ▶ [SIM カードロック設定]
- 2 [SIM PINの変更]
- 3 現在のPINコードを入力 ▶ [OK]
- 4 新しいPINコードを入力 ▶ [OK]
- 5 もう一度新しいPINコードを入力 ▶ [OK]

PINロックの解除

- 1 PINロック中画面でPINロック解除コードを入力
- 2 新しいPINコードを入力
- 3 もう一度、新しいPINコードを入力

基本操作

基本操作

タッチパネルやナビゲーションバーの操作、スクリーンショットの撮影など、端末の基本的な操作について説明します。

タッチパネルの操作

ディスプレイ(タッチパネル)を使用するための操作について説明します。

- 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った操作
 - タッチパネルが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
 - 水中での操作

- 確認画面などの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタッチすると操作が中止されることがあります。

■ タッチ

画面に表示されるキーや項目に触れて指を離すと、選択・決定を行います。



■ ロングタッチ

利用中の機能や画面によっては、タッチパネルに触れたままにするとメニューが表示されることがあります。

■ スライド(スワイプ)/ドラッグ

タッチパネルに触れたまま指を動かすと、画面をスクロールしたり、アイコンやウィジェットなどを目的の位置まで移動したりできます。

また、メニューや項目に間違っ触れたときにメニューや項目から離れるように指を動かすと、選択を中止できます。



■ フリック

ホーム画面などでタッチパネルをはらうように指を動かすと、ページの切り替えができます。



■ ピンチアウト/ピンチイン

利用中の機能や画面によっては、2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間を広げる(ピンチアウト)/狭める(ピンチイン)ように指を動かすと、画面の拡大/縮小などができます。



機能利用中の操作

■ ナビゲーションバー

画面下部のナビゲーションバーに表示されるキーなどを使って基本的な操作を行うことができます。



1 ◀/▶: 戻るキー/閉じるキー

- 1つ前の画面に戻します。
- キーボードを閉じます。

2 ◻: ホームキー

- ホーム画面を表示します。
- ロングタッチすると、音声エージェントを起動します(☞P.51「音声エージェント」)。

3 ◻/☰: アプリ使用履歴キー/マルチウィンドウキー

- アプリ使用履歴を表示します(☞P.49「アプリ使用履歴」)。
- マルチウィンドウ利用中であることを表します(☞P.50「マルチウィンドウ」)。

■ メニューを呼び出す

[⋮]／[≡]などのメニューキーのタッチや画面の左端を右にスワイプ、画面のロングタッチを行うと、その画面で利用できる機能(メニュー)が表示されます。

例:電卓画面



■ 設定の切替

設定項目の横にトグルスイッチなどが表示されているときは、タッチすることで設定のON/OFFを切り替えることができます。

例:Wi-Fi 設定画面

- [ON]はON、[OFF]はOFFの状態です。



■ 横／縦表示

端末を回転させた場合、利用中のアプリによってはナビゲーションバーに[📱]／[📺]が表示されます。[📱]／[📺]をタッチして、画面の横／縦表示を切り替えることができます。

- [画面の自動回転]をONにすると、本端末の傾きに合わせて、横／縦表示が自動的に切り替わります(📖P.76「ディスプレイ」)。
 - ステータスパネルからも設定できます(📖P.47「ステータスパネルの利用」)。

- 横表示から縦表示にした場合、アプリによっては全画面表示が解除されることがあります。

[画面の自動回転]について

- アプリや表示画面によっては、端末の向きを変えても、横／縦表示が切り替わらない場合や、特定の向きに表示が固定される場合があります。
- 端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、横／縦表示は切り替わりません。
- 音やバイブレータが動作しているときは、切り替えが正しく行われない場合があります。
- 画面が点灯した直後や電源を入れた直後は、横／縦が正しく表示されない場合があります。

スクリーンショットの撮影

表示中の画面を画像として撮影できます。

- 撮影した画像は本体メモリに保存され、フォトなどで確認することができます。
- アプリ使用履歴を利用してもスクリーンショットを撮影することができます(📖P.49「アプリ使用履歴」)。

1 📱(電源キー)+🔌(←)

- [📱]をタッチすると、撮影した画像を共有できます。
- [🔌]をタッチすると、撮影した画像を編集できます。
- スクロール可能な画面でスクリーンショットを撮影すると、[キャプチャ範囲を拡大]が表示される場合があります。タッチすると、スクロールして表示される画面の全体が表示され、保存する範囲を調整できます。

- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

スクリーンレコード

表示中の画面を動画として録画できます。

- 撮影した動画は本体メモリに保存され、フォトなどで確認することができます。

1 ステータスパネルで機能ボタンの[スクリーンレコード 開始]をタッチ

2 項目を選ぶ

- **録音**: 録音する音声について設定します。
- **画面上のタップも記録する**: 録画中のタッチ操作を白い丸で記録するか設定します。

3 [開始]

- ステータスパネルにカウントダウンが表示され、録画を開始します。

4 ステータスパネルで[停止]

- ステータスパネルで機能ボタンの[スクリーンレコード 停止]をタッチしても、録画を停止できます。

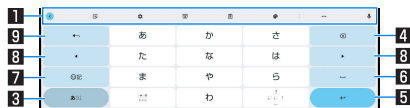
- アプリによっては録画できない場合があります。

文字入力

Gboard

画面に表示されるキーボードで、文字を入力できます。

- ここでは、QWERTYと12キーの基本的な操作について説明します。操作方法などは、Gboardのアップデートにより、本書の内容から変更されることがあります。



※各キーは設定や状況に応じて表示が切り替わります。

1 ツールバー

- クリップボードを利用したり、文字入力に関する設定などができます。

2 シフトキー

- 大文字／小文字を切り替えます。

3 入力モード切替キー

- 入力モードを変更します。

4 削除キー

- 文字を削除します。

5 確定／改行キー

- 入力中の文字の確定や、カーソル位置での改行を行います。

6 スペースキー

- スペースを入力します。

7 絵文字キー

- 絵文字や記号などを表示します。

8 カーソルキー

- カーソルを移動したり、変換する文字の区切りを変更したりできます。

9 逆トグル／戻すキー

- 入力した文字から逆回しで文字を入力したり、直前に確定した文字を未確定状態に戻したりできます。

通知／充電ランプ

新着メールがある場合や充電中などに通知／充電ランプを点灯／点滅してお知らせします。

表示状態	色	端末の状態
点灯	赤色	充電中(電池残量約94%以下)
点灯	緑色	充電中(電池残量約95%以上)
点滅	赤色	充電ができない状態
点滅	白色	新着メールあり

- アプリによっては、通知ランプについて設定できるものがあります。
- ディスプレイが表示されている場合、新着メールをお知らせする通知ランプが点滅しません。ステータスバーが表示される画面でお知らせアイコンを確認してください。
- 充電中にフル充電状態になっても、充電ランプは消灯しません。

画面表示／アイコン

画面上部のステータスバーに表示されるアイコンで、端末の状態や新着メールの有無など、さまざまな情報を知ることができます。ステータスパネルを表示させると詳細情報を確認できます。

アイコンの見かた

- 表示されるアイコンには、次の2種類があります。
 - お知らせアイコン: 新着メールなどをお知らせします。
 - ステータスアイコン: 電池残量や電波状態など端末の状態を表します。
- お知らせアイコン ステータスバー ステータスアイコン



- お知らせや端末の状態を表すアイコンが複数あり、表示範囲内に表示できない場合は、[・]が表示されます。ステータスパネルを表示して確認してください。

■ 主なお知らせアイコン一覧

: 電池残量が約15%以下

: 新着SMSあり (P.64「SMS」)

: 新着Gmailあり (P.66「Gmail™」)

: エラー表示

- 何らかのエラーが発生したときに表示されます。

: データ通信が無効

- データ使用量が上限に達した場合に表示されます。

: アラーム情報あり

: カレンダーのスケジュール通知あり

: microSDカード表示

: 本体メモリの空き容量低下

Bluetooth表示 (P.81「Bluetooth®機能」)

: Bluetooth機器からの登録要求／接続要求あり

: データ受信要求あり

データ送受信表示

: 送信表示


: 受信表示

: アプリのアップデートあり



: パブリックネットワークあり


: システム アップデートあり (P.95「システム アップデート」)

■ 主なステータスアイコン一覧

:アラーム設定中

- ステータスパネルに表示されます。



~:電池残量表示(☞P.76「バッテリー」)

- 通電中は電池マークに[]が重なって表示されます。
- 電池マークの右に電池残量をパーセントで表示させることができます。パーセントの表示/非表示はバッテリーの[バッテリー残量]で切り替えられます。

電波状態表示


~:レベル表示(5段階)



:圏外

- データ受信中は[]、データ送信中は[]が電波マークに重なって表示されます。
- 接続したネットワークによっては、電波マークの左側に[4G]/[3G]などネットワークに応じたマークが表示される場合があります。


Wi-Fi電波状態表示

~:レベル表示(5段階)


:インターネット接続されていないアクセスポイントに接続中


- データ受信中は[]、データ送信中は[]がWi-Fi電波マークに重なって表示されます。

:機内モード中(☞P.76「ネットワークとインターネット」)


:[Wi-Fiテザリング]が有効(☞P.76「ネットワークとインターネット」)

マナーモードのモード表示


:マナーモード(パイプ)



:マナーモード(ミュート)

- []はステータスパネルに表示されます。

:サイレントモード設定中

:Bluetooth通信中(☞P.81「Bluetooth®機能」)

:位置情報をGPSで測位中(☞P.76「位置情報」)

 / :カメラ/マイク利用表示

- カメラ/マイクの利用開始時に表示されます。カメラ/マイクを利用中は緑色の点で表示されます。

ステータスパネルの利用

1 ステータスバーを下にドラッグ

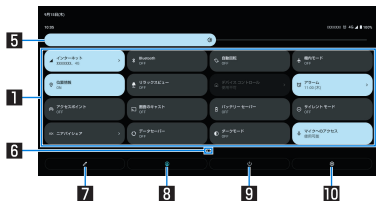
- ステータスパネルが表示されます。
- ステータスパネルをさらに下にドラッグすると、ステータスパネルが展開され、隠れていた機能ボタンなどが表示されます。
- ステータスバーを2本の指で同時に下にドラッグすると、ステータスパネルが展開された状態で表示されます。

2 ステータスパネルを利用する

■ ステータスパネルの見かた



ステータスパネル



ステータスパネル(展開時)

1 機能ボタン

- サイレントモード、Wi-Fi機能、位置情報の使用、縦画面の反転などについて設定できます。
 - 縦画面の反転についてはP.76「ディスプレイ」
- ロングタッチすると詳細を設定できる場合があります。
- ステータスパネルを展開しているときは、表示エリアを左右にフリックするとページを切り替えられます。

2 通知詳細情報

- 端末の状態やお知らせの内容を確認できます。
- 詳細情報の種類によっては、次の操作ができます。
 - 対応するアプリの起動や操作: 詳細情報や機能をタッチ
 - 詳細表示/簡易表示の切替: 詳細情報を2本の指で同時に上下にスライド、またはピンチアウト/ピンチイン
 - 詳細情報の消去: 詳細情報を左右にフリック
 - アプリの通知について設定: 詳細情報をロングタッチ▶画面の指示に従って操作

3 管理

- 通知について設定します。

4 すべて消去

- 通知詳細情報とお知らせアイコンを消去します。通知詳細情報の内容によっては消去されない場合があります。

5 明るさ調整バー

- ドラッグすると画面の明るさを調整できます。

6 インジケータ

- 機能ボタン表示エリアのページ枚数と現在の表示位置を表します。

7 編集

- 機能ボタンの並べ替えや追加、削除ができます。

8 使用者の切替

- 使用者を切り替えることができます。
 - 複数ユーザーに関する設定は、システムの[複数ユーザー]から行うことができます(P.76「システム」)。

9 電源メニュー

- \square (電源キー)を1秒以上押すと表示されるメニューを利用できます。詳しくは下記をご参照ください。
 - 電源を入れる/切るについてはP.36「電源を入れる/切る」
 - 「故障かな?と思ったら」についてはP.78「セルフチェック」

10 設定

- 「設定」アプリを起動します。
- アプリによっては、通知を受信した際に、ステータスパネルで返信操作などを行えるものがあります。通知詳細情報を詳細表示にし、画面の指示に従って操作してください。

アプリ使用履歴

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。

1 \square

2 履歴を利用する

- \square をタッチすると、1つ前に使用していたアプリが起動します。



1 アプリの使用履歴

- タッチするとアプリを起動できます。
- 上にフリックすると履歴を削除できます。
- 履歴を右にフリックし、[すべてクリア]をタッチすると、アプリの使用履歴をすべて削除できます。

2 スクリーンショット

- 表示しているアプリの使用履歴を画像として撮影できます。

3 アプリアイコン

- タッチするとアプリ情報の確認や分割画面(☞P.50「マルチウィンドウ」)の利用、スクリーンショットの撮影ができます。また、選択したアプリ以外を使用できないように固定することもできます。
 - アプリ固定を利用する場合は、あらかじめ[アプリ固定機能を使用]をONに設定しておいてください(☞P.76「セキュリティ」)。
 - アプリ固定: アプリアイコンをタッチ▶[固定]
 - アプリ固定の解除: [◀] + [□] をロングタッチ

4 分割画面

- 分割画面(☞P.50「マルチウィンドウ」)が利用できます。

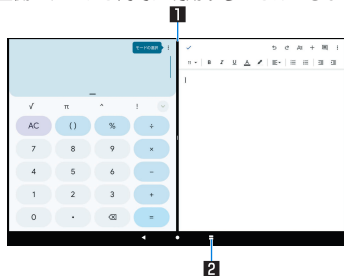
- アプリによっては履歴に表示されない場合があります。
- 起動中のアプリの履歴を消去すると、アプリを終了することができます。

マルチウィンドウ

左右に分割された画面で、2つのアプリを同時に利用することができます。

1 [□]▶[分割画面]

- [□]▶各履歴のアプリアイコンをタッチ▶[分割画面]と操作しても、マルチウィンドウを利用することができます。
- 画面が左右に分割され、[□]の表示が[田]に変わり、選択したアプリが左側に配置されます。別のアプリを起動すると、マルチウィンドウの右側に配置され、左側のアプリと同時に利用することができます。



1 セパレータ

- 画面の左端/右端までドラッグすると、右側/左側のアプリが全画面になります。マルチウィンドウは終了します。
- 左/右にドラッグすると、左右の画面サイズを変更することができます。

❏ マルチウィンドウキー

- マルチウィンドウ利用中であることを表します。操作方法は[□]と同様です。

- ご使用のアプリによっては、マルチウィンドウで利用できない場合があります。

音声エージェント

本端末のマイクを使って、音声による天気やニュースの検索、アラームの設定などの操作ができます。本端末では、Google アシスタントなどの音声エージェントが利用できます。

- 音声エージェントを利用するには、あらかじめ設定などが必要です。詳しくは各アプリのヘルプなどをご覧ください。

■ 音声エージェント利用時のご注意

- 残響・雑音の少ない場所でご利用ください。
- 大きな声で明瞭にお話してください。
- 一定の速度、抑揚でお話してください。

■ 音声エージェントの切替

- 1 ホーム画面 ▶ [⚙] ▶ [アプリ] ▶ [デフォルトのアプリ] ▶ [デジタル アシスタント アプリ] ▶ [デフォルトのデジタル アシスタント アプリ]

2 アプリを選ぶ

アプリの権限を設定する

本端末の機能や情報にアクセスするアプリ／機能をはじめて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。

- アプリ／機能によって、表示される確認画面の種類や内容は異なります。
- アプリによっては、特定の機能をはじめて利用するときに確認画面が表示される場合があります。また、バックグラウンドで起動しているアプリについての確認画面が表示される場合もあります。

例: カメラを起動したとき

1 アクセス権限の許可をリクエストする確認画面で設定を選ぶ



- 通常は機能の利用を許可してください。機能の利用を許可しなかった場合、アプリが正常に動作しないことがあります。
- 利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

■ 利用する機能の設定

利用する機能について、次の手順で設定することもできます。

アプリごとに利用する機能を設定

- 1 ホーム画面 ▶ [⚙️] ▶ [アプリ]
- 2 [XX個のアプリをすべて表示] ▶ アプリを選ぶ
 - [権限を削除して空き容量を増やす]をONにすると、アプリが数か月使用されていない場合に権限が取り消され、アプリの強制停止とキャッシュの削除が行われます。
- 3 [権限]
- 4 機能を選ぶ
- 5 設定を選ぶ

機能ごとに利用を許可するアプリを設定

- 1 ホーム画面 ▶ [⚙️] ▶ [プライバシー] ▶ [権限マネージャ]
- 2 機能を選ぶ
- 3 アプリを選ぶ
- 4 設定を選ぶ

■ 他のアプリの上に重ねて表示

アプリ/機能によっては、他のアプリの上に重ねて表示する許可が必要な場合があります。

- 1 ホーム画面 ▶ [⚙️] ▶ [アプリ]
- 2 [XX個のアプリをすべて表示] ▶ アプリを選ぶ
- 3 [他のアプリの上に重ねて表示]
- 4 [他のアプリの上に重ねて表示できるようにする]をONにする

ホーム画面

ホーム切替

利用するホームアプリを切り替えます。

- お買い上げ時は、端末に次のホームアプリが登録されています。
 - **かんたんホーム**
シンプルなレイアウトで、アイコンと文字が大きく表示されるホームアプリです。
 - **AQUOS Home**
ホーム画面(デスクトップシート/お気に入りトレイ)とアプリ一覧画面で構成されたホームアプリです。

1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [ホーム切替]

2 項目を選ぶ

- **ホーム切替**: ホームアプリを切り替えます。
- **かんたんホーム一括切替**: ホームアプリを[かんたんホーム]に切り替え、フォントサイズを[特大]に設定します。

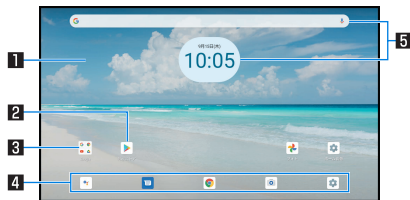
AQUOS Home

AQUOS Homeは、ホーム画面(デスクトップシート/お気に入りトレイ)とアプリ一覧画面で構成されたホームアプリです。

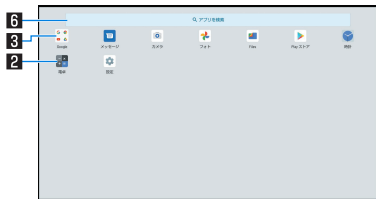
ホーム画面のデスクトップシートにはアプリ/機能のショートカット/ウィジェット、お気に入りトレイにはアプリ/機能のショートカットを登録することができます。アプリ一覧画面にはインストールされているアプリが表示されます。

AQUOS Homeの見かた

ホーム画面を上をスワイプするとアプリ一覧画面に切り替わります。



ホーム画面



アプリ一覧画面

1 デスクトップシート

- 複数のページがある場合、左右にフリックするとページを切り替えることができます。

2 アプリ

3 フォルダ

- フォルダをタッチ▶フォルダ名を選ぶと、フォルダ名を変更できます。フォルダ名が未設定のときは、[名前の編集]と表示されます。フォルダをタッチしてインジケータが表示されている場合は、左右にフリックするとページを切り替えることができます。

4 お気に入りトレイ

- お気に入りのアプリや機能のショートカットを登録して、すばやく起動させることができます。

5 ウィジェット

- Googleウィジェットでは、検索ボックスが表示されます。タッチすると、Google™ 検索を起動できます。
- 時計ウィジェットでは、日付や時刻、次のアラーム情報が表示されます。タッチすると「時計」アプリを起動できます。

6 アプリを検索

- インストールされているアプリの検索などができます。
[他のアプリを検索]をタッチすると、Google Playで検索できます。

ホーム画面の管理

■ アプリ／ウィジェット／フォルダの移動

1 ホーム画面／アプリ一覧画面▶アプリ／ウィジェット／フォルダをロングタッチ

2 移動する位置にドラッグして、指を離す

- 各デスクトップシートの左右端までドラッグすると、ページを移動できます。また、最終ページの右端にドラッグすると、新しいページを追加できます。
 - 他のアイコンと重なる位置にドラッグすると、フォルダを作成できます。
 - ホーム画面のアプリ／ウィジェット／フォルダを[削除]までドラッグするとホーム画面から削除できます。ホーム画面／アプリ一覧画面のアプリを[アンインストール]までドラッグするとアンインストールできます。
- ホーム画面のアプリを削除してもアプリはアンインストールされません。
 - アプリ一覧画面のアプリをロングタッチしてドラッグすると、画面上部に[ホーム画面に追加]が表示されます。[ホーム画面に追加]までドラッグして指を離すと、ホーム画面にアプリを登録できます。

■ ウィジェットの追加

- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[ウィジェット]
- 2 アプリをタッチ▶ホーム画面に追加したいウィジェットをロングタッチ
 - ホーム画面が表示されます。
- 3 追加する位置にドラッグして、指を離す

機能のショートカットの利用

- 1 ホーム画面／アプリ一覧画面▶アプリをロングタッチして、指を離す
- 2 機能のショートカットを選ぶ
 - 利用できる機能のショートカットはアプリによって異なります。
 - 機能のショートカットをロングタッチ▶登録する位置にドラッグして、指を離すとホーム画面に機能のショートカットを登録できます。

壁紙の設定

- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[壁紙]
- 2 アプリを選ぶ
- 3 設定する壁紙を選ぶ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

ホーム画面の設定

- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[ホームの設定]
- 2 項目を選ぶ
 - **通知ドット**:通知について設定します。
 - [アプリアイコン上の通知ドット]をONにすると、アプリに通知がある場合にアプリのアイコンの右上に通知ドットが表示されます。
 - **通知ドットに件数表示**:通知ドットに件数を表示するか設定します。
 - **ホーム画面にアプリのアイコンを追加**:新しいアプリをダウンロードしたときにホーム画面にアプリのアイコンを追加するか設定します。
 - **Google アプリの表示**:ホーム画面の一番左のページを右にフリックしたときに、天気やニュースなどの情報を表示するか設定します。

かんたんホーム

シンプルなレイアウトで、アイコンと文字が大きく表示されるホームアプリです。

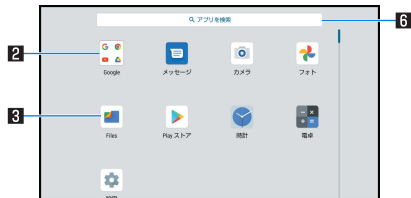
- ウィジェット/ショートカットを配置するホーム画面、アプリが表示されるアプリ一覧画面で構成されます。

かんたんホームの見かた

ホーム画面を上からスワイプするとアプリ一覧画面に切り替わります。



ホーム画面



アプリ一覧画面

1 デスクトップシート

- ウィジェット/ショートカットを配置するシートです。複数のページがある場合、左右にフリックするとページを切り替えることができます。

2 フォルダ

- フォルダをタッチ▶フォルダ名を選ぶと、フォルダ名を変更できます。フォルダ名が未設定のときは、[名前の編集]と表示されます。フォルダをタッチしてインジケータが表示されている場合は、左右にフリックするとページを切り替えることができます。

3 アプリ

4 ウィジェット

- Googleウィジェットでは、検索ボックスが表示されます。タッチすると、Google 検索を起動できます。
- 時計ウィジェットでは、日付や時刻、次のアラーム情報が表示されます。タッチすると「時計」アプリを起動できます。

5 アプリ一覧

- タッチするとアプリ一覧画面に切り替わります。

6 アプリを検索

- インストールされているアプリの検索などができます。
[他のアプリを検索]をタッチすると、Google Playで検索できます。

ホーム画面の管理

■ アプリ／ウィジェット／フォルダの移動

1 ホーム画面／アプリ一覧画面▶アプリ／ウィジェット／フォルダをロングタッチ

2 移動する位置にドラッグして、指を離す

- 各デスクトップシートの左右端までドラッグすると、ページを移動できます。また、最終ページの右端にドラッグすると、新しいページを追加できます。
- ホーム画面のアプリ／ウィジェット／フォルダをロングタッチ▶[削除]と操作すると、ホーム画面から削除できます。ホーム画面／アプリ一覧画面のアプリをロングタッチ▶[アンインストール]と操作すると、アンインストールできます。

- ホーム画面のアプリを削除してもアプリはアンインストールされません。
- アプリ一覧画面のアプリをロングタッチ▶[ホーム画面に追加]と操作すると、ホーム画面にアプリを登録できます。

■ ウィジェットの登録

1 ホーム画面でアイコンなどがいない部分、または[アプリ一覧]をロングタッチ▶[ウィジェット]

2 アプリをタッチ▶ホーム画面に追加したいウィジェットをロングタッチ

- ホーム画面が表示されます。

3 追加する位置にドラッグして、指を離す

機能のショートカットの利用

1 ホーム画面／アプリ一覧画面▶アプリをロングタッチして、指を離す

2 機能のショートカットを選ぶ

- 利用できる機能のショートカットはアプリによって異なります。
- 機能のショートカットをロングタッチ▶登録する位置にドラッグして、指を離すとホーム画面に機能のショートカットを登録できます。

壁紙の設定








- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分、または
[アプリ一覧]をロングタッチ▶[壁紙]
- 2 アプリを選ぶ
- 3 設定する壁紙を選ぶ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。









ホーム画面の設定

- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分、または
[アプリ一覧]をロングタッチ▶[ホームの設定]
- 2 項目を選ぶ
 - 通知ドット:通知について設定します。
 - [アプリアイコン上の通知ドット]をONにすると、アプリに通知がある場合にアプリのアイコンの右上に通知ドットが表示されます。
 - 通知ドットに件数表示:通知ドットに件数を表示するか設定します。
 - ホーム画面にアプリのアイコンを追加:新しいアプリをダウンロードしたときにホーム画面にアプリのアイコンを追加するか設定します。




主なアプリ一覧

- アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できません。
- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み(有料)が必要となるものがあります。
- インストールされている主なアプリは次のとおりです。

アイコン	アプリ	概要
	アシスタント	Google アシスタントを起動します。
	カメラ	カメラで撮影します(☞P.70「カメラについて」)。
	カレンダー	スケジュールを管理します。
	スプレッドシート	Google スプレッドシートを使うと、スプレッドシートの作成や編集ができるほか、他のユーザーと共同編集することもできます。
	スライド*	Google スライド™を使うと、プレゼンテーションの作成や編集ができるほか、他のユーザーと共同編集することもできます。
	設定	端末の各種設定をします(☞P.76「設定メニュー」)。
	電卓	電卓を利用します。

アイコン	アプリ	概要
	ドキュメント	Google ドキュメントを使うと、ドキュメントの作成や編集ができるほか、他のユーザーと共同編集することもできます。
	時計	アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチなどを利用します。
	ドライブ	画像や動画などをGoogle ドライブ™に保存したり、共有したりすることができます。
	ニュース	Google ニュース™は、あなたの関心に合わせて、世界中の出来事を整理してお届けするスマートなニュースアプリです。
	フォト	静止画や動画を表示・編集したり、管理することができます(☞P.75「フォト」)。
	マップ	現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます。
	メッセージ	SMSを利用します(☞P.64「SMS」)。
	レンズ	カメラや写真を使って目の前にあるものを検索したり、作業を効率化したり、周囲のものについて調べたりすることができます。また、QRコードやバーコードを読み取ることもできます。

アイコン	アプリ	概要
	連絡帳	連絡帳を利用します(☞P.61「連絡帳」)。
	Chrome	パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示できます(☞P.67「Chrome」)。
	Duo	ビデオ通話を利用します。
	Files	本体メモリやmicroSDカードの画像・動画・オーディオ・ダウンロードしたデータなどのコンテンツを管理することができます。
	Gmail	Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます(☞P.66「Gmail™」)。
	Google	各種情報を検索できます。
	Google One	Google One™はストレージを拡張するシンプルなプランです。Googleを有効に活用していただける特典も含まれています。
	Google Pay	Google Payでは、買い物に必要な情報を端末に保存しておくことができます。
	Google Play ムービー&TV	映画をレンタルしたり、視聴したりすることができます。
	Play ストア	Google Playを利用します。

アイコン	アプリ	概要
	Podcasts	Google ポッドキャスト™は、Android™ユーザー向けの新しいポッドキャストプレーヤーです。
	YouTube	YouTube™は無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードを行うことができます。
	YT Music	音楽を再生します。

- アプリによっては、初回起動時にダウンロードが必要な場合があります。アプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- インストールされているアプリの中には、アンインストールできるものもあります。アンインストールしたアプリはPlay ストアなどから再度ダウンロードできる場合があります。
- 本製品はQualcomm® aptX™ Adaptive Audioに対応しています。

連絡帳

連絡帳

連絡先の管理やプロフィールの確認を行うことができます。

連絡帳の登録

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶
[Google]▶[連絡帳]

2 [+]

3 各項目を設定

- 各項目を設定すると、[X]が表示されます。[X]をタッチすると削除できます。



1 写真を追加

- メールを送受信時や連絡先確認時に表示する画像を登録します。

2 保存先

- 登録するアカウントを設定します。
- 複数のアカウントを設定している場合は、タッチして登録するアカウントを選択してください。

3 名前

- [✓]をタッチすると、敬称やミドルネームを登録できます。

4 会社名

5 電話番号

6 メールアドレス

7 その他の項目

- 住所や誕生日、ラベルなどの情報を登録します。

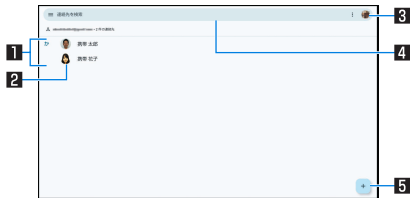
4 [保存]

連絡帳の確認／利用

登録した連絡先を呼び出してメールを送信できます。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶
[Google]▶[連絡帳]

2 名前を選ぶ



1 連絡先

2 画像

3 アカウント

- 連絡先を表示するアカウントです。
- タッチして表示するアカウントを選択してください。

4 検索ボックス

5 新規作成アイコン

3 登録情報を確認／利用する



1 画像

2 お気に入り

- お気に入りに設定した連絡先は、連絡帳の上部に表示されます。

3 名前

4 操作アイコン

- メール送信や経路検索など、登録内容を利用した操作ができます。

5 登録内容

- 登録内容を確認／利用できます。

6 連絡先を編集

■ 連絡先の設定

連絡先の削除や共有、ショートカットの作成などができます。

1 ホーム画面 ▶ 「アプリ一覧画面」を表示 ▶
[Google] ▶ [連絡帳]

2 名前を選ぶ

3 [:] ▶ 機能を選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

連絡帳を設定

1 ホーム画面 ▶ 「アプリ一覧画面」を表示 ▶
[Google] ▶ [連絡帳]

2 画面右上のアカウントアイコンをタッチ ▶ [連絡帳アプリの設定]

3 項目を選ぶ

- **Google コンタクトの同期設定**: 連絡先のバックアップと同期について設定します。
- **自分の情報**: 自分の情報を入力します。
- **アカウント**: アカウントについては P.37「Googleなどのアカウントの設定を行う」
- **モード**: 連絡帳のモードを設定します。
- **新しい連絡先のデフォルト アカウント**: 連絡先を登録する際に、デフォルトで設定されるアカウントを選択します。
- **よみがな**: 連絡先編集時のよみがなの表示について設定します。
- **インポート**: 連絡先データを読み込みます。
- **エクスポート**: 連絡先データを書き出します。書き出したデータを共有することができます。
- **復元**: バックアップから連絡先を復元します。
- **変更を元に戻す**: 連絡先リストを指定のタイミングの状態に戻します。

メール／ウェブブラウザ

SMSやGmailなどを利用して、メッセージを送受信したり、Chromeを利用してサイトを表示したりできます。

SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

- SMSが利用可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。
- 海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。

1 ホーム画面 ▶ [🏠]

2 [チャットを開始]

3 宛先、メッセージを入力 ▶ [SMS]

- 宛先が海外通信事業者のときは、「+」、国番号、相手先の携帯電話番号の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まるときは先頭の「0」を除いて入力します。また「010」、国番号、相手先携帯電話番号の順に入力しても送信できます。
- SMSのメッセージに半角カタカナや特殊記号を使うと、受信側で正しく表示されないことがあります。

メッセージの表示

1 ホーム画面 ▶ [🏠]

2 スレッドを選ぶ

- 宛先／送信元ごとにメッセージをスレッドにまとめて表示します。



1 メッセージ検索

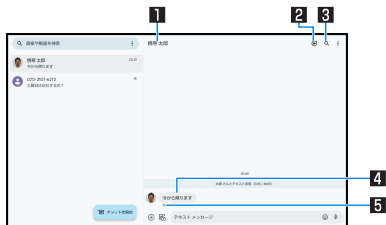
2 宛先／送信元

3 画像

4 送受信日時

- 最新のメッセージの送受信日時が表示されます。送受信からの経過時間が短い場合は、経過時間が表示されます。

3 メッセージを確認する



- 1 宛先／送信元
- 2 ビデオ通話
- 3 メッセージ検索
- 4 メッセージ
- 5 送受信日時

- 最新のメッセージの送受信日時が表示されます。送受信からの経過時間が短い場合は、経過時間が表示されます。

メッセージの返信

- 1 ホーム画面 ▶ [🏠]
- 2 スレッドを選ぶ
- 3 メッセージを入力 ▶ [SMS]

メッセージの転送

- 1 ホーム画面 ▶ [🏠]
- 2 スレッドを選ぶ
- 3 メッセージをロングタッチ ▶ [⋮] ▶ [転送]
- 4 宛先を選択 ▶ メッセージを入力 ▶ [SMS]

メッセージの削除

- 1 ホーム画面 ▶ [🏠]
- 2 スレッドを選ぶ
- 3 メッセージをロングタッチ ▶ [🗑️] ▶ [削除]

スレッドの削除

- 1 ホーム画面 ▶ [🏠]
- 2 削除するスレッドをロングタッチ
 - 複数のスレッドを削除する場合は、削除するスレッドをタッチしてください。
 - 選択しているスレッドをタッチすると、選択状態は解除されます。
- 3 [🗑️] ▶ [削除]

メッセージの設定

1 ホーム画面 ▶ [☰]

2 [:] ▶ [設定]

3 項目を選ぶ

- **チャット機能**: チャット機能について設定します。
- **通知**: SMSの通知について設定します。
- **バブル**: バブル表示するメッセージについて設定します。
- **リストの詳細ビュー**: スレッド選択画面に会話の詳細を表示するか設定します。
- **メッセージ送信音を鳴らす**: メッセージの送信音を鳴らすか設定します。
- **現在の国**: 本端末を使用している国を設定します。
- **自動プレビュー**: メッセージ内のリンクのプレビューについて設定します。
- **スパム対策**: スпам対策機能を有効にするか設定します。
- **詳細設定**: SMS内で使用する文字の設定や受取確認通知の設定、緊急速報メールの確認などを行います。
- **概要、利用規約、プライバシー**: アプリのバージョンやプライバシーポリシー、利用規約を確認します。

受取確認通知について

- 他社の携帯電話にメッセージを送信した場合、受取確認通知が届かないことがあります。

Gmail™

Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- GoogleアカウントやEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。
- Gmailについて詳しくは、Gmail画面で[☰] ▶ [ヘルプとフィードバック]と操作して、ヘルプを参照してください。

1 ホーム画面 ▶ 「アプリ一覧画面」を表示 ▶ [Google] ▶ [Gmail]

2 [作成]

3 宛先を入力

- Cc/Bcc入力欄の追加: 宛先入力欄の[∨]をタッチ

4 件名、本文を入力

- ファイルの添付: [📎] ▶ ファイルの添付方法を選ぶ ▶ 添付するファイルを選ぶ

5 [▶]

メールの表示

1 ホーム画面 ▶ 「アプリ一覧画面」を表示 ▶ [Google] ▶ [Gmail]

2 メールを確認する

Chrome

パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示できます。

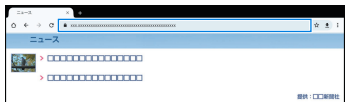
サイトの表示

1 ホーム画面 ▶ [🏠]

- サイトによっては、正しく表示されない場合があります。

■ サイトの検索

1 URL入力欄をタッチ



2 キーワードを入力 ▶ キーワードを選ぶ

- 入力した文字を含むキーワードを一覧表示します。
- キーワードを最後まで入力して [🔍] でも検索できます。
- ページの再読み込み: Chrome画面で [🔄]

■ 新しいタブを開く

1 Chrome画面で [👤]

- 新しいタブが表示されます。タブを選択することで、表示するサイトを切り替えることができます。
- タブを閉じる: Chrome画面で [✕]

■ シークレット タブを開く

閲覧履歴や検索履歴を残さずにサイトを表示できます。

1 Chrome画面で [:] ▶ [新しいシークレット タブ]

- シークレット タブで表示中は画面右上に [🔒] が表示されます。

2 URL入力欄をタッチ ▶ キーワードを入力 [🔍]

- シークレット タブを閉じる: Chrome画面で [✕]

- シークレット タブで表示したサイトはChromeの履歴には残りません(🔒履歴からのサイト表示)。また、シークレットタブをすべて閉じると、Cookieなどの記録も削除されます。シークレットタブでもファイルのダウンロードやブックマークの登録は行えます。

■ ページ内の文字の検索

1 Chrome画面で[:]▶[ページ内検索]

2 検索する



1 キーワード入力欄

- 検索するキーワードを入力します。

2 前へ

3 次へ

4 検索終了

5 検索結果バー

- タッチした検索結果に移動できます。

■ 文字のコピー

1 Chrome画面でコピーする文字をロングタッチ

2 始点から終点までドラッグ

- コピー範囲の変更:[●]/[●]をドラッグ

3 [コピー]

■ 便利な機能

リンクを新しいタブで表示したり、画像などをダウンロードしたりできます。

1 Chrome画面でリンク／画像をロングタッチ▶ 利用する機能を選ぶ

Chromeの設定

1 Chrome画面で[:]▶[設定]

2 項目を選ぶ

- **同期を有効にする**: GoogleアカウントでChromeにログインします。同じアカウントでChromeを利用していた際のタブやブックマーク、履歴などの情報を同期できます。
- **Googleのサービス**: Googleサービスを設定します。
- **検索エンジン**: URL入力欄から検索するときに利用する検索エンジンを設定します。
- **パスワード**: パスワードの保存について設定します。
- **お支払い方法**: フォームに自動入力するお支払い方法について設定します。
- **住所やその他の情報**: フォームに自動入力する住所やその他の情報について設定します。
- **プライバシーとセキュリティ**: 利便性向上のために閲覧情報が使用される機能について設定します。
- **安全確認**: Chromeの保護機能の設定状況などを確認できます。
- **通知**: Chromeからの通知について設定します。
- **テーマ**: Chromeのテーマを設定します。
- **トップページ**: トップページについて設定します。

- **ユーザー補助機能**:文字のサイズやズームなどの画面表示について設定します。
- **サイトの設定**:サイトの表示についてや、サイトが利便性向上のために使用できる情報について設定します。
- **言語**:サイトを表示する言語を設定します。表示可能な場合、設定した言語で表示できます。
- **ライトモード**:データ使用量を抑えるようにするか設定します。
- **ダウンロード**:ファイルや記事のダウンロードについて設定します。
- **Chrome について**:Chromeの情報を確認できます。

ブックマークや履歴の利用

■ ブックマークの登録

1 Chrome画面で[☆]

■ ブックマークからのサイト表示

1 Chrome画面で[:]▶[ブックマーク]

2 ブックマークを選ぶ

■ 履歴からのサイト表示

1 Chrome画面で[:]▶[履歴]

2 履歴を選ぶ

カメラ/フォト

カメラについて

静止画や動画を撮影できます。撮影したい被写体に合わせてカメラの設定を切り替えることができます。

- カメラの有効画素数や記録ファイル形式、ズームの最大倍率などについては(P.98「主な仕様」)
- 縦画面で撮影する場合、[縦画面の反転]で画面表示の上下を反転できます(P.76「ディスプレイ」)。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部が指紋や油脂などで汚れると、ピントが合わなくなったり、画像がぼやけることがあります。撮影する前に、柔らかい布などで拭いてください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- カメラのレンズ部に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影または保存したときは、画質が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとする、画像が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なうことがありますので、ご注意ください。

- 内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示され、撮影データを保存し、自動終了します。
- 電池残量が少ないと、撮影中に電源が切れる恐れがあります。カメラを使用する場合は事前に十分な充電を行ってください。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪などがつかないようにしてください。
- 撮影解像度を大きくすると情報量が多くなるため、端末に表示される画像の動きが遅くなる場合があります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生したりすることがあります。室内の照明条件や明るさを変更したり、[ちらつき防止]をONにしたりすることにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できる場合があります。
- カメラの設定や撮影環境によっては、本端末の内部温度が高くなり、撮影が停止する場合があります。
- microSDカードへ保存中に他のアプリからmicroSDカードを利用した場合、保存に失敗することがあります。

著作権・肖像権について

お客様が端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用になれませんので、ご注意ください。お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

■ カメラを使用中の動作について

- シャッター音の音量は変更できません。

■ カメラの撮影解像度

設定できる撮影解像度は次のとおりです。

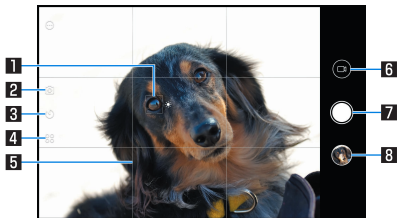
静止画撮影

アウトカメラ	4:3	8メガピクセル
	16:10	7メガピクセル
	16:9	6メガピクセル
インカメラ	4:3	8メガピクセル
	16:10	7メガピクセル
	16:9	6メガピクセル

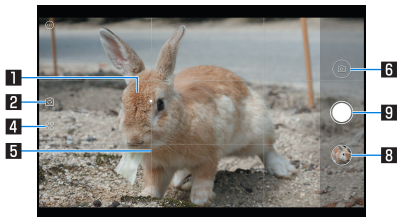
動画撮影

アウトカメラ	FHD 1080p
	HD 720p
	SD 480p
インカメラ	FHD 1080p
	HD 720p
	SD 480p

撮影画面の見かた





静止画撮影画面



動画撮影画面

1 フォーカスマーク

- 被写体をタッチするとフォーカスマークが表示されます。被写体にフォーカスが合うと、フォーカスマークの右側に [] が表示されます。
 - [] を上下にスライドすると、明るさを調整できます。
 - カメラの向きを変えるなどしてオートフォーカスが動作したり、別の被写体をタッチしたりするとフォーカスは解除されます。また、明るさの設定も解除されます。
- 静止画撮影時に人の顔を検出した場合は、自動でフォーカスマークを表示します。

2 イン/アウトカメラ切替

3 セルフタイマー

- タッチするとセルフタイマーの設定を [OFF] / [3秒] / [5秒] / [10秒] から選択できます。

4 撮影メニュー

- 利用できる撮影メニューが表示されます (P.73「撮影メニューの切替」)。

5 ガイド線

- [ガイド線] を設定していると表示されます (P.74「カメラの設定」)。

6 静止画撮影/動画撮影切替

- タッチすると静止画撮影/動画撮影を切り替えることができます。

7 静止画撮影

- 静止画を撮影します。

8 直前に撮影したデータ

- 直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。タッチするとデータの確認などができます。

9 動画撮影開始

- 動画を撮影します。

■ 動画撮影中画面



1 静止画撮影

2 動画撮影停止

3 撮影時間

■ 撮影メニューの切替

1 ホーム画面 ▶ [📷]

2 [📷]

3 項目を選ぶ

- **スクエア**: 正方形の静止画を撮影します。
- **タイムラプス(3倍速)**: 時間の流れを早回しして、時間を凝縮した動画を撮影します。
- [✕] をタッチすると撮影メニューを終了します。

[タイムラプス(3倍速)]について

- アウトカメラで利用できます。
- 再生スピードが3倍速になるように設定されています。変更はできません。

静止画の撮影

1 ホーム画面 ▶ [📷]

2 [📷]

- [📷] が表示されているときは、操作する必要はありません。

3 本端末のカメラを被写体に向ける

- 撮影画面の操作については P.72「撮影画面の見かた」
- ズーム: ピンチアウト/ピンチイン

4 [📷] / [⏪] / [⏩]

- [連写撮影] が ON の場合、[📷] をロングタッチ、または [⏪] / [⏩] を 1 秒以上押しすと、静止画を連続撮影することができます (P.74「カメラの設定」)。

動画の撮影

1 ホーム画面 ▶ [📷]

2 [📷]

- [📷]が表示されているときは、操作する必要はありません。

3 本端末のカメラを被写体に向ける

- 撮影画面の操作についてはP.72「撮影画面の見かた」
- ズーム:ピンチアウト/ピンチイン

4 [📷] / [⏪] / [⏩]

- 動画撮影中に [📷] をタッチすると静止画の撮影ができます。

5 [📷] / [⏪] / [⏩]

カメラの設定

- 静止画撮影/動画撮影や撮影メニューなどによって、設定項目の有無は異なります。

1 ホーム画面 ▶ [📷]

2 [📷] / [📷]

3 [📷]

4 項目を選ぶ

- **HDR**:逆光などコントラストが強いシーンで、白とび/黒つぶれを軽減して撮影するHDR機能の設定をします。
- **写真の手ブレ補正**:手ぶれを補正するか設定します。
- **ちらつき防止**:ONにすると、蛍光灯によるちらつきを補正します。テレビやパソコンの画面などを撮影する際に有効な設定です。OFFのときは、被写体ぶれや手ぶれの補正を優先します。
- **連写撮影**: [📷] をロングタッチ、または [⏪] / [⏩] を1秒以上押し、静止画を連続撮影するか設定します。
- **ガイド線**:撮影画面にガイド線を表示するか設定します。
- **インカメラのミラーモード**:インカメラで撮影した静止画を左右反転して保存するか設定します。
- **位置情報付加**:位置情報を付加するか設定します。
- **保存先設定**:保存先を設定します。
 - microSDカード挿入時は、保存先の変更が可能です。
- **解像度**:静止画/動画の解像度を切り替えます。
- **設定リセット**:設定をリセットします。

[保存先設定]について

- 本端末を管理者以外のユーザーやゲストが使用している場合、保存先は本体のみとなります。

フォト

静止画や動画を表示・編集したり、管理することができます。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[フォト]

2 データを選ぶ

- データをゴミ箱に移動: データをロングタッチ▶[🗑️]▶[ゴミ箱に移動]

3 データを確認する

- 「フォト」アプリはPlayストアより更新することができ、最新バージョンでは操作方法が変わることがあります。更新された場合は、フォト画面で画面右上のアカウントアイコンをタッチ▶[ヘルプとフィードバック]と操作し、内容をご確認ください。
- 不要な静止画や動画はゴミ箱に移動しても、本端末からは削除されていません。ゴミ箱を空にすると本端末から削除できます。
- 以前利用していた端末で撮影したデータがmicroSDカード内に保存されている場合などは、ステータスパネルの通知詳細情報に「写真の整理」の通知が表示されることがあります。表示された場合は、通知内容をご確認いただき、写真の整理を行ってください。

データの複数選択について

- データ一覧画面でデータをロングタッチするとデータ選択画面に切り替わります。他のデータをタッチして複数のデータを選択することができます。

■ ゴミ箱を空にする

1 フォト画面で[ライブラリ]▶[ゴミ箱]

2 [:]▶[ゴミ箱を空にする]▶[完全に削除]

本体設定

設定メニュー

ホーム画面▶**[設定]**で表示されるメニューから、本端末の各種設定を行うことができます。

- 本体設定を表示中に「設定を検索」欄にキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。
- 使用状況などにより、表示される項目や配置が異なる場合があります。

ネットワークとインターネット	Wi-Fi機能や機内モード、モバイル ネットワークなどのネットワークについて設定します。
接続済みのデバイス	Bluetooth機能などについて設定します。
アプリ	アプリの名前やバージョンなどの確認、有効/無効の設定、アンインストールなどができます。
通知	通知について設定します。
バッテリー	電池の利用状況の確認や設定、アプリごとのバッテリー使用量の設定、バッテリーセーバーの起動などを行います。
ストレージ	本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量/合計容量の確認、保存されているデータの表示、外部ストレージの初期化などができます。
音	お知らせ音などについて設定します。
ディスプレイ	画面の自動回転や縦画面の反転など画面表示について設定します。

壁紙	ホーム画面やロック画面の壁紙を設定します。
ホーム切替	利用するホームアプリを切り替えます。
ユーザー補助	ユーザー補助オプションについて設定します。
セキュリティ	画面ロックや指紋認証、アプリ固定機能など、本端末のセキュリティについて設定します。
プライバシー	権限やアカウントアクティビティ、個人データなどのプライバシーに関する設定を行うことができます。
位置情報	位置情報の測位について設定します。
緊急情報と緊急通報	緊急時情報や緊急 SOS、緊急速報メールなどについて設定します。
パスワードとアカウント	アカウントの追加や設定、データの同期、アカウントに保存したパスワードなどについて設定します。
Digital Wellbeing と保護者による使用制限	本端末の利用習慣を一目で確認し、オフラインで過ごす時間を作ります。また、本端末の使用制限について設定します。
Google	Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。
システム	画面に表示される言語や日時の設定、複数ユーザーの設定、出荷時リセットなど、システムにかかわる設定を行います。
タブレット情報	タブレット情報の確認ができます。
お困りのときは	「よくあるご質問」の確認や設定項目の検索など、お困りのときに利用できる機能がまとめられています。

タブレット情報

タブレット情報の確認ができます。

1 ホーム画面 ▶ [🔧] ▶ [タブレット情報]

2 項目を選ぶ

- **デバイス名**: デバイス名を変更できます。
- **電話番号**: 電話番号を確認できます。
- **法的情報**: 著作権情報や利用規約などを確認できます。
- **規制ラベル**: 技術基準適合証明書などの情報を確認できます。
- **電池の状態**: 電池の状態を確認できます。
- **SIM のステータス**: SIM情報を確認できます。
- **モデル**: モデル名やシリアル番号などを確認できます。
- **製造番号**: 製造番号などの情報を確認できます。
- **Android バージョン**: Androidバージョンなどを確認できます。
- **IP アドレス**: IPアドレスを確認できます。
- **Wi-Fi MAC アドレス**: MACアドレスを確認できます。
- **デバイスの Wi-Fi MAC アドレス**: デバイスのWi-Fi MACアドレスを確認できます。
- **Bluetoothアドレス**: Bluetoothアドレスを確認できます。
- **稼働時間**: 端末の稼働時間を確認できます。
- **ビルド番号**: ビルド番号を確認できます。

お困りのときは

「よくあるご質問」の確認や設定項目の検索など、お困りのときに利用できる機能がまとめられています。

1 ホーム画面 ▶ [🔧] ▶ [お困りのときは]

2 項目を選ぶ

- **よくあるご質問**: シャープのサイトに接続し、「よくあるご質問」を確認できます。
- **設定項目を検索**: 検索入力欄にキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。
- **セルフチェック**: 症状や機能を選択して、端末の診断を行います。セルフチェックの詳細についてはP.78「セルフチェック」

■ セルフチェック

1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [お困りのときは] ▶ [セルフチェック]

- セーフモードで再起動: [⋮] ▶ [セーフモードで再起動] ▶ [OK]

2 [診断する]

3 [症状から選ぶ] / [診断したい箇所を選ぶ]

- [ストレージを確保する]をタッチすると、アプリが一時的に使用しているキャッシュを削除して、空き容量を確保します。
- [よくあるご質問]をタッチすると、シャープのサイトに接続し、「よくあるご質問」を確認できます。

4 項目を選ぶ

- [診断したい箇所を選ぶ]の場合は、項目を選んで[次へ]をタッチします。また、項目の[?]をタッチすると、診断についてのヘルプが表示されます。

5 [次へ]

6 [診断開始]

- 診断の中止: [スキップ] ▶ [診断中止]
- 診断項目のスキップ: [スキップ] ▶ [スキップ]
- 診断履歴をタッチすると、結果を確認することができます。

7 [診断を終了する]

ファイル管理

ストレージ構成

■ 本体メモリ(内部ストレージ)

本端末内にデータを保存できます。

- 本体メモリのストレージ名とパスは次のとおりです。
 - ・ ストレージ名:内部ストレージ
 - ・ パス:/storage/emulated/0
- お買い上げ時の本体メモリのフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータの種類などは次のとおりです。
 - ・ 本端末の操作状況により、表示されるフォルダが異なる場合があります。

Alarms	アラーム音などが保存されます。
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなどが保存されます。
Audiobooks	オーディオブックなどが保存されます。
DCIM	カメラで撮影した静止画や動画が保存されます。
Documents	テキストデータなどが保存されます。
Download	Chromeなどでダウンロードしたファイルが保存されます。
Movies	動画などが保存されます。
Music	音楽データなどが保存されます。
Notifications	お知らせ音などが保存されます。
Pictures	静止画などが保存されます。

Podcasts	ポッドキャストから取り込んだ音楽データなどが保存されます。
Recordings	録音されたデータなどが保存されます。
Ringtones	着信音などが保存されます。

■ microSDカード(外部ストレージ)

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- microSDカードについてはP.33「microSDカード」

ファイル操作

本体メモリやmicroSDカードに保存されたデータの管理(フォルダの作成やフォルダ/ファイルの名称変更、削除、移動、コピーなど)ができます。また、データを削除して本体メモリの空き容量を増やすことができます。

- ここでは、「Files」での操作について説明します。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[Files]

2 [見る]

- 最近使用したファイル、カテゴリ、ストレージ デバイスなどが表示されます。
- microSDカードを取り付けている場合は、ストレージ デバイスに[SD カード]が表示されます。

3 ストレージ デバイスからストレージを選ぶ

- データ一覧画面が表示されます。

■ フォルダを作成

- 1 データ一覧画面で[:]▶[新しいフォルダを追加]
- 2 フォルダ名を入力▶[フォルダを作成]

■ フォルダ名/ファイル名を変更

- 1 データ一覧画面でフォルダ/ファイルをロングタッチ
- 2 [⋮]▶[名前を変更]
- 3 フォルダ名/ファイル名を入力▶[OK]

■ フォルダ/ファイルを削除

- 1 データ一覧画面でフォルダ/ファイルをロングタッチ
- 2 [⋮]▶[完全に削除]▶[削除]

■ フォルダ/ファイルを移動/コピー

- 1 データ一覧画面でフォルダ/ファイルをロングタッチ
- 2 [⋮]▶[移動]/[コピー]
- 3 移動先/コピー先で[ここに移動]/[ここにコピー]

■ ファイルを検索

- 1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[Files]
- 2 [見る]
- 3 [🔍]
- 4 検索するキーワードを入力▶[🔍]

■ 本体メモリの空き容量を増やす

不要なデータや使用していないアプリなどを削除して、本体メモリの空き容量を増やすことができます。

- 1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[Files]
- 2 [削除]
- 3 空き容量を増やす方法を選ぶ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

Bluetooth®機能

端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- 対応バージョンや出力については「P.98「主な仕様」」

■ 対応プロファイル(対応サービス)

- プロファイルとは、Bluetooth機器の通信手順を製品の特性ごとに標準化したものです。本端末は次のプロファイルに対応しています。
 - HSP:Headset Profile(ヘッドセットプロファイル)※1
 - HFP:Hands Free Profile(ハンズフリープロファイル)※2
 - A2DP:Advanced Audio Distribution Profile(アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル)※3
 - AVRCP:Audio/Video Remote Control Profile(オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル)※3
 - HID:Human Interface Device Profile(ヒューマンインターフェースデバイスプロファイル)※4
 - OPP:Object Push Profile(オブジェクトプッシュプロファイル)※5
 - SPP:Serial Port Profile(シリアルポートプロファイル)※6
 - PBAP:Phone Book Access Profile(フォンプブックアクセスプロファイル)※7
 - PAN:Personal Area Networking Profile(パーソナルエリアネットワークプロファイル)※8

- HOGP:HID Over GATT Profile(エイチアイディーオーバーガットプロファイル)※9

- ※1 端末に市販のBluetooth対応ヘッドセットをBluetooth接続して利用できます。
- ※2 端末にカーナビなど市販のBluetooth対応ハンズフリー機器をBluetooth接続して利用できます。
- ※3 端末に市販のBluetooth対応オーディオ機器をBluetooth接続すると、ワイヤレスで音楽などを再生できます。また、Bluetooth機器からリモコン操作できる場合もあります。ただし、データの種類によっては対応する機器が制限されます。
- ※4 端末にキーボードやマウスなど市販のBluetooth対応入力デバイスがBluetooth接続すると、Bluetooth機器から端末を操作できます。
- ※5 端末にBluetooth機器をファイル転送サービスで接続すると、Bluetooth機器との間でデータの送受信を行うことができます。
- ※6 仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続することができます。
- ※7 Bluetooth機器に本体メモリの連絡帳データを転送することができます。連絡帳データの内容によっては、相手のBluetooth機器で正しく表示されない場合があります。
- ※8 パソコンなどのネットワークに参加し、インターネット接続を共有することができます。また、端末にパソコンなどをBluetooth接続すると、Bluetooth テザリングを行うこともできます。
- ※9 端末にキーボードやマウスなどのBluetooth Smart機器をBluetooth接続すると、Bluetooth Smart機器から端末を操作できます。

- Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。
- SCMS-T非対応のBluetooth機器では、音声が出力できない場合があります。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、次の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
 - 端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境(壁、家具など)、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
 - 電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときは、正常に接続できなったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
 - 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
 - Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

- 電車内
- 航空機内
- 病院内
- 自動ドアや火災報知機から近い場所
- ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Wi-Fi対応機器との電波干渉について

- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。

Bluetooth機能の利用

- Bluetooth機器の登録・接続には、Bluetooth/パスキーの入力が必要な場合があります。登録を始める前にお好きな1～16桁の数字を決めておき、端末・相手のBluetooth機器で同じ数字を入力してください。
- あらかじめ相手のBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。

1 ホーム画面 ▶ [] ▶ [接続済みのデバイス] ▶ [接続の設定] ▶ [Bluetooth]

2 [Bluetooth を使用]をONにする

3 [新しいデバイスとペア設定]

4 Bluetooth機器を選ぶ ▶ [ペア設定する]

- 接続確認画面が表示される場合があります。
 - 相手のBluetooth機器によっては、Bluetooth/パスキーを入力する場合があります。また、登録完了後、続けて接続まで行う場合があります。
- 最大7台まで同時に接続できます。プロフィールによっては、正しく動作しない場合や、同時に接続できる機器数が異なる場合があります。
- 接続に失敗する場合、Bluetooth機器を再登録すると接続できるようになる場合があります。
- [Bluetooth を使用]をONにすると、他のBluetooth機器からの登録要求/接続要求を受けられる状態になります。他のBluetooth機器から検索する場合は、本体設定の[接続済みのデバイス]を表示しておいてください。

- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。
- 相手のBluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

■ Bluetooth機器からの登録要求や未登録のBluetooth機器からの接続要求を受けた場合

1 Bluetooth機器からの登録要求/接続要求

2 ペア設定画面で[ペア設定する]



- ステータスバーに [] が表示された場合はステータスバーを下にドラッグ ▶ [ペアに設定して接続] ▶ [ペア設定する] と操作してください。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetooth/パスキーの入力をする場合もあります。
- 接続確認画面が表示される場合があります。

■ Bluetooth機器の管理


1 ホーム画面▶[]▶[接続済みのデバイス]

- 接続中／接続解除中のBluetooth機器が表示されます。
 - [すべて表示]をタッチすると、接続解除中のBluetooth機器の一覧が表示されます。

2 Bluetooth機器を選ぶ

- []が表示されている場合は、[]をタッチしてください。

3 Bluetooth機器を管理する

- 利用する機能をタッチして、ON/OFFを切り替えることができます。
- 名称変更:[]▶名前を入力▶[名前を変更]
- 接続／接続解除:[接続]／[接続を解除]
- 登録解除:[削除]▶[このデバイスとのペア設定を解除]

■ 本端末の名称変更

相手のBluetooth機器に表示される本端末の名称を変更できます。

- [Bluetooth を使用]をONにしてから設定してください。

1 ホーム画面▶[]▶[接続済みのデバイス]▶ [接続の設定]▶[Bluetooth]

2 [デバイス名]

3 名前を入力▶[名前を変更]

Bluetooth通信送受信

■ データを送信

例:静止画のとき

- 1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[フォト]
- 2 送信する静止画をロングタッチ
- 3 []▶[Bluetooth]
 - 「Bluetooth」が表示されていない場合は、[その他]→[Bluetooth]と操作してください。
 - 受信側のBluetooth機器を受信待ち状態にします。
- 4 接続するBluetooth機器を選ぶ

■ データを受信

- 1 送信側のBluetooth機器からデータ送信
- 2 ステータスバーを下にドラッグ▶着信通知の[承諾]
- 3 ステータスバーを下にドラッグ▶受信したデータを選ぶ

- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

外部機器接続

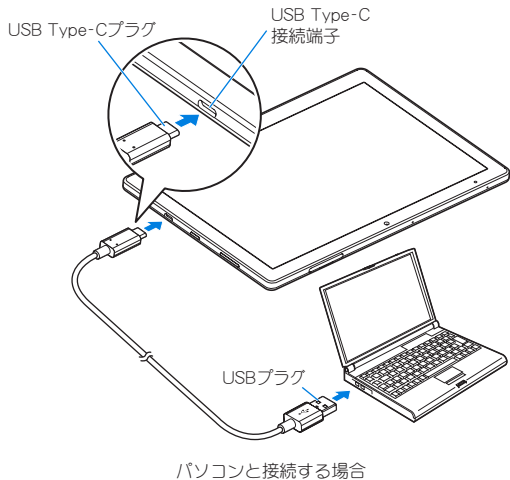
パソコンなどとの接続

本端末とパソコンなどを接続することで、本端末または相手機を充電したり、本体メモリまたはmicroSDカードのデータを転送したりできます。

USB Type-Cケーブル(市販品)を使って接続する場合は、次の操作を行います。

- 1 USB Type-CケーブルのUSB Type-Cプラグを、本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む
- 2 USB Type-CケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む

- 本端末にUSBの設定画面が表示されます。表示されない場合は、ステータスバーを下にドラッグして、USB接続の使用方法についての通知を選んでください。



3 [USBの制御元]でデバイス側を選ぶ

- **接続済みのデバイス**: 接続済みの相手端末がデバイスになります。
- **このデバイス**: 本端末がデバイスになります。
- 接続する相手機によっては[このデバイス]から[接続済みのデバイス]に切り替えることができません。この場合、デバイス側は本端末に設定されます。
 - [接続済みのデバイス]を選択してデバイス側を切り替えることができる相手機はRole Swap対応機器です。Role Swap対応機器を市販の両プラグがType CのUSBケーブルで接続した場合に切り替えることができます。この場合、相手機をホスト/本端末をデバイスにして相手機から本端末のストレージ(本体メモリまたはmicroSDカード)のデータを操作したり、本端末をホスト/相手機をデバイスにして本端末から相手機のストレージのデータを操作できます。

4 [USBの接続用途]でUSB接続の使用方法を選ぶ

- **ファイル転送 / Android Auto**: MTP対応の相手機と本体メモリまたはmicroSDカードの間でデータを転送します。また、Android Auto™対応機器と接続する場合に使用します。
- **USB テザリング**: 本端末を介してUSB接続した相手機をインターネット接続する場合に使用します。
- **MIDI**: 端末をMIDI入力に使用します。
- **PTP**: PTP対応の相手機と本体メモリの間で静止画を転送します。

- **充電**: 端末の充電のみ利用できます。
- [USBの制御元]で[このデバイス](本端末がデバイス)の場合に設定できます。
[接続済みのデバイス]に設定している場合は、相手機(相手機側で[このデバイス]に設定)で操作してください。

5 利用が終わったら、USB Type-Cケーブルを取り外す

- 本端末に対応するUSBケーブルをご利用ください。プラグ部の形状が異なるものは使用できません。
- USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 一度に大量のデータを転送した場合、転送が中断することがあります。その場合はデータを分けて転送してください。
- データのやりとりをしているときは、USBケーブルを取り外さないでください。データが壊れることがあります。
- Windows 8.1/Windows 10/Windows 11以外のOSでの動作は、保証していません。

本端末に保存された動画の転送について

- USBの設定画面で[動画をAVCに変換]をONに設定すると、本端末に保存された動画を転送するときに、動画の形式を自動でH.264(AVC)形式に変換することができます。

プリントサービスによる印刷／保存

印刷用アプリ(プラグイン)を利用して画像を印刷したり、PDF形式で保存したりできます。

例:フォトを利用するとき

1 フォトの画像表示画面で[]▶[印刷]

2 各項目を設定

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

USBホスト機能

本端末にはUSBホスト機能が搭載されています。市販の周辺機器接続用USBケーブルをUSB Type-C接続端子に接続することでマウスなどのUSB機器を利用できます。

- USBホスト機能について詳しくは、周辺機器接続用USBケーブルやUSB機器の取扱説明書をご覧ください。

- すべてのUSB機器との接続を保証するものではありません。
- USBホスト機能の利用中は端末の動作が遅くなる場合があります。
- 消費電力の大きなUSB機器を接続する場合、端末の動作状態や電池残量、周囲温度によっては自動的に端末の電源が切れることがあります。

USBメモリの取り外しについて

- USBメモリの取り外しは、USBメモリをマウント解除してから行ってください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

キャスト

キャスト対応のテレビなどに端末の画面と音声を出力します。

- 接続機器側の操作については、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [接続済みのデバイス] ▶ [接続の設定] ▶ [キャスト]

2 接続する機器を選ぶ

- キャスト機能を利用する機器を設定すると、対応するアプリでキャストアイコン([キャスト])が表示される場合があります。
- 起動しているアプリや表示しているコンテンツによっては、出力ができない場合があります。
- 起動しているアプリによっては、途中で終了する場合があります。
- 出力中は、著作権保護コンテンツを再生できないことがあります。
- 周囲の環境によっては、無線の干渉を受けて映像が乱れたり音飛びが発生したりする場合があります。また、接続に失敗したり、出力が切れてしまう場合があります。端末とテレビなどを障害物やその他の無線機器のない見通しの良い環境でご利用ください。
- Miracast[®]機器との接続には対応していません。

VPN(仮想プライベートネットワーク)

VPNの追加

VPN(Virtual Private Network)とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。

- 端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [VPN] ▶ [＋]

2 各項目を設定 ▶ [保存]

VPNの接続

1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [VPN]

2 接続するVPNを選ぶ

3 VPNの接続情報を入力 ▶ [接続]

VPNの切断

1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [VPN] ▶ 画面の指示に従って操作

トラブルシューティング(FAQ)

故障かな？と思ったら

- システムをアップデートする必要があるかをチェックして、必要な場合にはシステムをアップデートしてください(☞P.95「システム アップデート」)。
- 端末のセルフチェックを行ってください(☞P.78「セルフチェック」)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、「保証書に記載のお問い合わせ先」にご相談ください。

電源

症状	チェック項目
本端末の電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池切れになっていませんか。(☞P.34「充電」)
画面が動かない、電源が切れない	<ul style="list-style-type: none"> ● \square(電源キー)を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

充電

症状	チェック項目
充電ができない 充電ランプが点灯しない、または点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ● 指定のACアダプター(別売)の電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。(☞P.35「ACアダプターで充電」) ● ACアダプターをご使用の場合、ACアダプターのUSB Type-Cプラグと本端末がしっかりと接続されていますか。(☞P.35「ACアダプターで充電」) ● パソコンとUSB Type-Cケーブル(市販品)をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。 ● 充電しながら通信やその他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。(☞P.34「充電時のご注意」) ● 電池が切れの状態でも充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。 ● 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。

■ 端末操作

症状	チェック項目
操作中・充電中に熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> • 操作中や充電中、また、充電しながら動画視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、ACアダプターが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。☞P.34「充電時のご注意」

症状	チェック項目
電池の使用時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> • 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。圏外が続く場所では電源を切るか、機内モードを設定してください。☞P.36「電源を切る」、P.76「ネットワークとインターネット」 • 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。☞P.98「主な仕様」 • 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。☞P.20「内蔵電池の交換について」 • 使用していないアプリは終了してください。☞P.49「アプリ使用履歴」 • 使用していない無線機能はOFFにしてください。☞P.83「Bluetooth機能の利用」 • バッテリーセーバーを利用すると、電池の消費を抑えることができます。☞P.76「バッテリー」
タッチしたり、キーを押したりしても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> • 端末の電源が切れていませんか。☞P.36「電源を入れる」

症状	チェック項目
タッチしたり、キーを押したりしたときの画面の反応が遅い	<ul style="list-style-type: none"> 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
nanoSIMカードが認識しない	<ul style="list-style-type: none"> nanoSIMカードを正しい向きで挿入していますか。☞P.31「nanoSIMカード」
時計がずれる	<ul style="list-style-type: none"> 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付と時刻の[日時を自動的に設定]がONになっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。☞P.76「システム」
端末動作が不安定	<ul style="list-style-type: none"> お買い上げ後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモード*で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
アプリが正しく動作しない(起動できない、エラーが頻繁に起こるなど)	<ul style="list-style-type: none"> 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。☞P.76「アプリ」 アプリの動作に必要な権限を設定していますか。☞P.51「アプリの権限を設定する」 アプリのバッテリー使用量を[制限]に設定していませんか。☞P.76「バッテリー」

※セーフモードとはお買い上げ時に近い状態で起動させる機能です。

• セーフモードの起動方法

電源が切れている状態から電源を入れ直し、起動中の画面でタッチパネルのロック画面が表示されるまで[←]を押し続けてください。

※電源を入れた状態で[電源キー](1秒以上)▶[電源を切る]をロングタッチ▶[OK]と操作しても、セーフモードで再起動ができません。

また、セルフチェックからも、セーフモードで再起動ができます。☞P.78「セルフチェック」

※セーフモードが起動すると画面左下に[セーフモード]と表示されます。

※セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。

- 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
- ウィジェットによっては消去される場合があります。
- セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

■ 画面

症状	チェック項目
ディスプレイが暗い	<ul style="list-style-type: none">• 画面の点灯時間を短く設定していませんか。【P.76「ディスプレイ」】• ディスプレイの明るさを変更していませんか。【P.76「ディスプレイ」】• [明るさの自動調節]をONに設定していませんか。ONにしている場合は、周囲の明るさによって変わります。【P.76「ディスプレイ」】• [バッテリーセーバー]をONに設定していませんか。【P.76「バッテリー」】

■ メール

症状	チェック項目
メールを自動で受信しない	<ul style="list-style-type: none">• パスワードとアカウントの設定でGmailが自動的に同期しないように設定していませんか。【P.76「パスワードとアカウント」】

■ カメラ

症状	チェック項目
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	<ul style="list-style-type: none">• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。【P.70「カメラをご利用になる前に」】

■ 海外利用

症状	チェック項目
海外で本端末が使えない	<ul style="list-style-type: none">• 本端末は日本国内でのみ使用可能です。

■ データ管理

症状	チェック項目
データ転送が行われない	<ul style="list-style-type: none">• USB HUBや変換プラグを使用していませんか。USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。【P.86「パソコンなどとの接続」】• USB接続の用途を正しく設定していませんか。【P.86「パソコンなどとの接続」】
microSDカードに保存したデータが表示されない	<ul style="list-style-type: none">• microSDカードを取り付け直してください。【P.33「microSDカード」】
画像が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none">• 画像データが壊れている場合は黒色の画面が表示されるなどして、画像が正しく表示されません。

■ Bluetooth機能

症状	チェック項目
Bluetooth通信対応機器と接続ができない／検索しても見つからない	<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth通信対応機器(市販品)側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器(市販品)、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。☎P.83「Bluetooth機能の利用」

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法
SIM カードなし	<ul style="list-style-type: none"> nanoSIMカードが正しく差し込まれていないかご確認ください。☎P.31「nanoSIMカード」
xx通を受信しましたが全てのメールを受信できませんでした	<ul style="list-style-type: none"> 何らかの原因ですべてのメールを受信できなかった場合に表示されます。
空き容量わずか	<ul style="list-style-type: none"> 本体メモリの空き容量が低下しています。一部の機能やアプリが正常に動作しなくなる場合があります。不要なアプリのアンインストールやファイルの移動／削除を行ってください。

エラーメッセージ	説明／対処方法
応答が無いため接続が中断されました	<ul style="list-style-type: none"> メールやSMSを利用するとき、回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている場合に表示されます。しばらくたってから送信し直してください。
サーバーエラー 送信できませんでした	
接続エラー 送信できませんでした	
送信先サーバーが対応していません	
通信エラー しばらくたってから送り直してください	<ul style="list-style-type: none"> 有効なライセンスを保持していない場合や再生期間、再生期限が終了した著作権保護コンテンツを再生しようとした場合に表示されます。
このコンテンツを再生する権限がありません	

エラーメッセージ	説明／対処方法
試行回数が上限を超えました。指紋認証センサーを無効にしました。	<ul style="list-style-type: none"> 指紋認証に5回失敗したあと、しばらくたってから指紋認証を行う操作をして合計20回失敗した場合に表示されます。指紋認証ではロックを解除できなくなりまますので、画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。
所定の回数以上間違えました。しばらくしてからもう一度お試しください。	<ul style="list-style-type: none"> 指紋認証に5回失敗した場合に表示されます。状況に応じて、画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。
しっかりと指紋センサーをタッチしてください	<ul style="list-style-type: none"> 指紋の読み取りに失敗した場合に表示されます。
認識されませんでした	
指を離してから、もう一度センサーに触れてください。	
指を離すのが早すぎます	
モバイルネットワークが利用できません。	<ul style="list-style-type: none"> 有効な優先ネットワークタイプに設定されているかご確認ください
ライセンスの取得に失敗しました。再生できません。	<ul style="list-style-type: none"> 再生期限が切れた著作権保護コンテンツのライセンス更新に失敗したときに表示されます。

システム アップデート

SH-T01Lのシステム アップデートが必要なかをネットワークに接続して確認し、必要に応じてアップデートファイルをダウンロードして、システムをアップデートする機能です。

- システム アップデートが必要な場合は、端末上あるいはシャープ株式会社のホームページにてご案内いたします。
- システム アップデートは、本端末に登録した連絡帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態(故障、破損、水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- システム アップデートには大量のパケット通信が発生することがあります。Wi-Fi通信を利用できる場合は、Wi-Fi通信を利用してアップデートすることをおすすめします。

ご利用にあたって

- システム アップデートに必要な電池残量がないときはシステムをアップデートできません。システム アップデートを行う際は、電池をフル充電しておいてください。アップデート時は充電しながら操作することをおすすめします。
- システム アップデート（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- システム アップデート中は、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。
- システム アップデートは電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、システム アップデートを中断することがあります。
- システム アップデート中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- システム アップデートの際、お客様のSH-T01L固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のシステム アップデート用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、システム アップデート以外の目的には利用いたしません。
- システム アップデートに失敗すると、本端末が使用できなくなる場合があります。本端末が使用できなくなった場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- システム アップデート中は、他のアプリを起動しないでください。

システムのアップデート

1 ホーム画面▶[⚙]▶[システム]▶[システムアップデート]

- システム アップデートが必要な場合は、システム アップデート用データをダウンロードすることができます。以降は画面の指示に従って操作してください。
- ステータスバーに[🔋]が表示されている場合は、ステータスパネルからシステム アップデートを利用することができます。

- システム アップデートの必要がないときには、「お使いのシステムは最新の状態です」と表示されます。
- アップデート中は、すべてのキー操作が無効となります。アップデートを中止することもできません。
- システム アップデートに失敗したときや中止されたときは、システム アップデートを実行し直してください。

保証とアフターサービス

保証について

保証書は付属の「クイックスタートガイド」に含まれておりません。

- お買い上げ年月日、販売店名をご確認ください。
保証書の記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間
お買い上げの日から1年間です(ただし電池、消耗部品は除きます)。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録/設定した内容が消失・変化する場合がありますので、大切な連絡帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが消失・変化した場合の損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

■ 補修用性能部品の保有期間

シャープ株式会社は、この製品の補修用性能部品を、製品の製造打ち切り後4年保有しています。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」をご覧ください。
それでも異常があるときは、使用を止めて、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

保証期間中

ご要望により有料修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

■ お願い

- 本端末の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上で受けたいします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ・ ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
 - ・ 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - ・ 外装などを純正品以外のものに交換するなど
 - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に付いている銘板プレートは、取り外さないでください。銘板プレートが故意に取り外されたり、付け替えられた場合など、銘板プレートの内容が確認できないときは、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

■ 主な仕様

■ 本体

品名	SH-T01L	
サイズ	高さ:約170mm、幅:約246mm、厚さ:約8.2mm(最厚部:約8.6mm)	
重量	約491g	
ディスプレイ	サイズ	約10.1インチ
	種類	TFT
	解像度 (ピクセル数 横×縦)	WUXGA(1920×1200)
	発色数	16,777,216色
内蔵メモリ	RAM:4G/バイト ROM:64G/バイト※1	
バッテリー容量	6500mAh	
連続待受時間 (静止時)※2	LTE	約1380時間
充電時間	ACアダプター SH-AC05(別売):約220分	
無線LAN	対応規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠 (IEEE802.11n対応周波数帯: 2.4GHz/5GHz)

Bluetooth ^{※3}	バージョン	5.0	
	出力	Bluetooth標準規格 BR/EDR: Power Class 1、LE: Power Class 1.5	
	対応プロファイル ^{※4} /コーデック	HSP(1.2)、HFP(1.8) ^{※5} 、 A2DP(1.3) ^{※6} 、AVRCP (1.6)、HID(1.0)、OPP(1.2)、 SPP(1.2)、PBAP(1.2)、PAN (PAN-NAP)(1.0)、PAN (PANU)(1.0)、HOGP(1.0)	
イヤホンマ イク端子	端子径	3.5mmイヤホンジャック	
	極数	4極	
カメラ	撮像素子	種類	アウトカメラ:裏面照射型 CMOS ^{※7} インカメラ:裏面照射型 CMOS ^{※7}
		サイズ	アウトカメラ:1/4インチ インカメラ:1/4インチ
	有効画素数	アウトカメラ:約800万画素 インカメラ:約800万画素	
	記録画素数	アウトカメラ:約800万画素 インカメラ:約800万画素	

カメラ	記録 ファイル 形式 ^{※8}	動画	MP4
		静止画	JPEG
	動画1件あたりの最 大録画時間		制限なし ^{※9}
	ズーム (デジタ ル)	動画	アウトカメラ:最大約8.0倍 インカメラ:最大約8.0倍
静止画		アウトカメラ:最大約8.0倍 インカメラ:最大約8.0倍	
動画再生	対応コーデック	H.263、H.264、H.265、 MPEG-2、MPEG-4、VP8、 VP9	
音楽再生	対応コーデック	AAC LC、AAC+、enhanced AAC+、enhanced low delay AAC、AMR-NB、AMR-WB、 FLAC、MP3、MIDI、Vorbis、 PCM/WAVE、Opus	
多言語対応 ^{※10}		英語、中国語(簡体字)、イン ドネシア語、ベトナム語、タ イ語、ポルトガル語	

※1 メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたア
プリアやデータなどの保存にすべての容量を使用することは
できません。使用可能な空き容量については、「ストレージ」
(P.76)をご参照ください。

- ※2 連続待受時間とは、電波を正常に送受信できる静止状態での目安です。
データ通信などによって、待受時間は、短くなります。電池の充電状態や使用環境、利用場所の電波状態などにより、待受時間が半分程度になる場合があります。
- ※3 Bluetooth機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、データのやりとりができない場合があります。
- ※4 Bluetooth対応機器同士の使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。
- ※5 音声コーデックmSBC(16kHz)、CVSDに対応しています。
- ※6 音声コーデックaptX、aptX Adaptive、SBC、AACに対応しています。
- ※7 CMOS(complementary metal-oxide semiconductor:相補型金属酸化膜半導体)とは、銀塩カメラのフィルムにあたる部分を構成する撮像素子です。
- ※8 「カメラ」利用時の仕様です(※P.70「カメラについて」)。
- ※9 動画の解像度が[FHD 1080p]の場合の撮影時間です。動画撮影時間は保存先に設定したストレージの空き容量により異なります。
- ※10 Android標準でサポートしている全言語にも対応。表示できる言語はそれぞれのアプリに依存します。

データ通信端末の比吸収率(SAR)について

この機種SH-T01Lは、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、本データ通信端末に対するSARの許容値は2W/kgです。このデータ通信端末を本取扱説明書に記述する通常使用の場合のSARの最大値は0.753W/kg(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常SARはより小さい値となります。

通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

シャープ株式会社のホームページ

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>

- ※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
- ※2 この値は同時送信の値です。

CAUTION

- The device can be used in Japan only.

Use only specified AC adapter (sold separately).

May cause fires, burns, bodily injury, electric shock, etc. if you use a device other than specified one.

For details on optional parts, refer to the following website.

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/sht01/index.html>

Do not throw the device into a fire or heat it.

May cause fires, burns, bodily injury, etc.

Do not dispose of the device in ordinary garbage.

May cause fires, burns, bodily injury, etc. It may also cause damage to the environment. For details on the unnecessary device, contact the "company or outlet listed on the warranty card" or follow the instructions by a local institution that handles used devices.



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Avoid using the device in extremely high or low temperatures.

Use the device within the range of a temperature between 5°C and 35°C and a humidity between 45% and 85%.

Refer to the following for details on using it at a bathroom.

※P.21 “SH-T01Lが有する防水/防塵性能でできること”

Charge battery in areas where ambient temperature is between 5°C and 35°C.

Bluetooth function

- Bluetooth is a registered Trademark of Bluetooth SIG, Inc.

輸出管理規制

本機を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがあります。旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。米国輸出規制により本機をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- USB Type-C®はUSB Implementers Forumの登録商標です。
- Bluetoothは、米国Bluetooth SIG,Inc.の登録商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fi Direct®、Miracast®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<https://www.openssl.org>)
この製品には OpenSSL Toolkit における使用のためにOpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- This product includes cryptographic software written by Eric Young(eay@cryptsoft.com)
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
- 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ R、新ゴ Mを搭載しています。
「新ゴ」は、株式会社モリサワの登録商標です。
- Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.
Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries.
aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.

- Google、Google ロゴ、Android、Google Play、Google Play ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google カレンダー™、Google カレンダー ロゴ、Google マップ™、Google マップ ロゴ、Google Chrome™、Google Chrome ロゴ、Google 音声検索™、Google 音声検索 ロゴ、YouTube、YouTube ロゴ、YouTube Music ロゴ、GBOARD™、Google ドライブ、Google ドライブ ロゴ、Google 検索、Google 検索 ロゴ、Google Lens™、Google Lens ロゴ、Google フォト™、Google フォト ロゴ、Google アシスタント、Google アシスタント ロゴ、Google Playムービー & TV ロゴ、Google Duo™、Google Duo ロゴ、Google Pay、Google Pay ロゴ、Google One、Google One ロゴ、Google ニュース、Google ニュース ロゴ、Google ポッドキャスト、Google ポッドキャスト ロゴ、Google スプレッドシート ロゴ、Google スライド、Google スライド ロゴ、Google ドキュメント ロゴ、Files ロゴ、Android Autoは、Google LLC の商標です。
- 「AQUOS/アクオス」、「AQUOS Home」はシャープ株式会社の商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておられません。
 - MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ(以下「MPEG-4ビデオ」と記載します)を符号化すること。
 - 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
 - ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限り)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておられません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
<https://www.mpegla.com>をご参照ください。

- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
 - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10(Home、Pro、Enterprise、Education)の略です。
 - Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
 - Windows 11は、Microsoft® Windows® 11(Home、Pro、Enterprise、Education)の略です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面▶[\[⚙\]](#)▶[\[タブレット情報\]](#)▶[\[法的情報\]](#)▶[\[サードパーティ ライセンス\]](#)をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License(MPL)に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/>

索引

名前から探す

あ

アイコンの見かた	46
新しい連絡先のデフォルト アカウント	63
アプリ使用履歴	49
アプリの権限を設定する	51
安全確認	68
安全上のご注意(必ずお守りください)	5
位置情報付加	74
インカメラのミラーモード	74
インポート	63
エクスポート	63
お困りのときは	77
お支払い方法	68
主なアプリ一覧	58
主な仕様	98
音声エージェント	51

か

解像度	74
ガイド線	74
概要、利用規約、プライバシー	66
各部の名称と機能	28
稼働時間	77

壁紙の設定	
AQUOS Home	55
かんたんホーム	58
カメラについて	70
カメラの設定	74
カメラをご利用になる前に	70
画面上のタップも記録する	44
画面表示/アイコン	46
かんたんホーム	56
かんたんホーム一括切替	53
かんたんホームの見かた	56
規制ラベル	77
機能のショートカットの利用	
AQUOS Home	55
かんたんホーム	57
機能利用中の操作	41
基本操作	40
キャスト	89
権限マネージャ	52
言語	69
現在の国	66
検索エンジン	68
このデバイス	87

さ

サイトの設定	69
サイトの表示	67
撮影画面の見かた	72
システム アップデート	95
自動プレビュー	66

自分の情報	63
写真の手ブレ補正	74
住所やその他の情報	68
充電	
ご使用前の準備	34
パソコンなどとの接続	87
詳細設定	66
初期設定	37
スクエア	73
スクリーンショットの撮影	43
スクリーンレコード	44
ステータスパネルの利用	47
ストレージ構成	79
スパム対策	66
スレッドの削除	65
静止画の撮影	73
製造番号	77
接続済みのデバイス	87
設定項目を検索	77
設定メニュー	76
設定リセット	74
セルフチェック	77

た

タイムラプス(3倍速)	73
ダウンロード	69
タッチパネルの操作	40
タブレット情報	77
知的財産権について	102
チャット機能	66

ちらつき防止	74
通知	
Chromeの設定	68
メッセージの設定	66
通知/充電ランプ	45
通知ドット	
AQUOS Home	55
かんたんホーム	58
通知ドットに件数表示	
AQUOS Home	55
かんたんホーム	58
データ通信端末の比吸収率(SAR)について	100
テーマ	68
デバイスの Wi-Fi MAC アドレス	77
デバイス名	77
電源を入れる/切る	36
電池の状態	77
電話番号	77
動画の撮影	74
同期を有効にする	68
トップページ	68
トラブルシューティング(FAQ)	90
取り扱い上のご注意	15

は

パスワード	68
パソコンなどとの接続	86
バブル	66
ビルド番号	77
ファイル操作	79

ファイル転送 / Android Auto	87
フォト	75
復元	63
ブックマーク	69
プライバシーとセキュリティ	68
プリントサービスによる印刷 / 保存	88
変更を元に戻す	63
防水 / 防塵性能	21
法的情報	77
ホーム画面にアプリのアイコンを追加	
AQUOS Home	55
かんたんホーム	58
ホーム画面の管理	
AQUOS Home	54
かんたんホーム	57
ホーム画面の設定	
AQUOS Home	55
かんたんホーム	58
ホーム切替	53
保証とアフターサービス	97
保存先設定	74
本端末で利用する暗証番号について	38
本端末のご利用について	4

ま

マルチウィンドウ	50
メール / ウェブブラウザ	64
メールの表示	66
メッセージ送信音を鳴らす	66
メッセージの削除	65

メッセージの設定	66
メッセージの転送	65
メッセージの表示	64
メッセージの返信	65
モード	63
目次	2
文字入力	44
モデル	77

や

ユーザー補助機能	69
輸出管理規制	102
よくあるご質問	77
よみがな	63

ら

ライトモード	69
リストの詳細ビュー	66
履歴	69
連写撮影	74
連絡帳	61
連絡帳の確認 / 利用	62
連絡帳の登録	61
連絡帳を設定	63
録音	44

英数字

ACアダプターで充電	35
------------	----

Android バージョン	77
AQUOS Home	53
AQUOS Homeの見かた	53
Bluetoothアドレス	77
Bluetooth機能	81
Bluetooth機能の利用	83
Bluetooth通信送受信	85
Chrome	67
Chrome について	69
Chromeの設定	68
Gboard	44
Gmail	66
Google アプリの表示	55
Google コンタクトの同期設定	63
Googleなどのアカウントの設定を行う	37
Google のサービス	68
HDR	74
IP アドレス	77
microSDカード	33
MIDI	87
nanoSIMカード	31
PINコードを設定する	39
PINコードを変更する	39
PINロックの解除	39
PTP	87
SIM のステータス	77
SMS	64
USBケーブルで充電	35
USBホスト機能	88
VPNの接続	89
VPNの切断	89
VPNの追加	89

Wi-Fi MAC アドレス	77
----------------	----

目的から探す

基本操作

電源を入れる	36
画面ロックを解除する	36
ホーム画面の見かた	53
ホーム画面にショートカットを追加する	55
ホーム画面にウィジェットを追加する	55
文字を入力する	44
microSDカードを取り付ける／取り外す	33

メール

SMSを使う	64
Gmailを使う	66

インターネット

ホームページを見る	67
ブックマーク(お気に入り)を登録する	69

カメラ

写真を撮影する	73
動画を撮影する	74
撮影した写真／動画を見る	75
撮影した写真／動画の保存先を設定する	74
バーコード(QRコード)を読み取る	59

便利な機能

スクリーンショットを撮影する	43
----------------	----

故障

故障かな?と思ったら	90
------------	----

その他

スペックを確認する	98
アプリをアンインストールする	54
USBケーブルを利用してパソコンからデータを送る	86



製造元 シャープ株式会社

1版
22F RK112